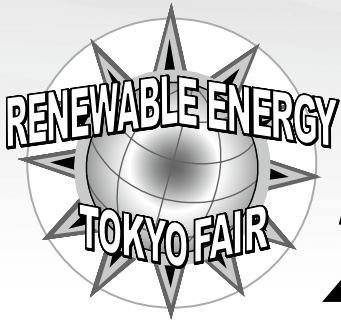


# 報告書



あつまれ★今を見つめて明日を変えよう!  
再生可能エネルギー世界フェア  
2011



第6回再生可能エネルギー世界展示会 (新エネルギー世界展示会より改称)

# RENEWABLE ENERGY 2011 EXHIBITION / The 6th



政策・統合概念  
Policy & Concept



太陽光発電  
Photovoltaic



太陽熱利用  
Solar Thermal  
Applications



省エネルギー建築  
Low Energy  
Architecture



風力  
Wind Energy



バイオマス  
Biomass Utilization  
& Conversion



水素・燃料電池  
Hydrogen &  
Fuel Cell



海洋エネルギー  
Ocean Energy



地熱・地中熱  
Geothermal  
Energy



グリッド・モビリティ社会  
Grid & Mobility  
Society



ヒートポンプ・熱利用  
Heat Pump &  
Energy Efficiency




中小水力・未利用エネルギー  
Small Hydro &  
Non-Conventional Energy

2011年12月5日(月)~7日(水)

10:00~17:00

会場 幕張メッセ

主催 再生可能エネルギー協議会

同時開催： 太陽光発電に関する総合イベント  
PVJapan 2011 (共同主催: 太陽光発電協会、SEMI)

展示会事務局

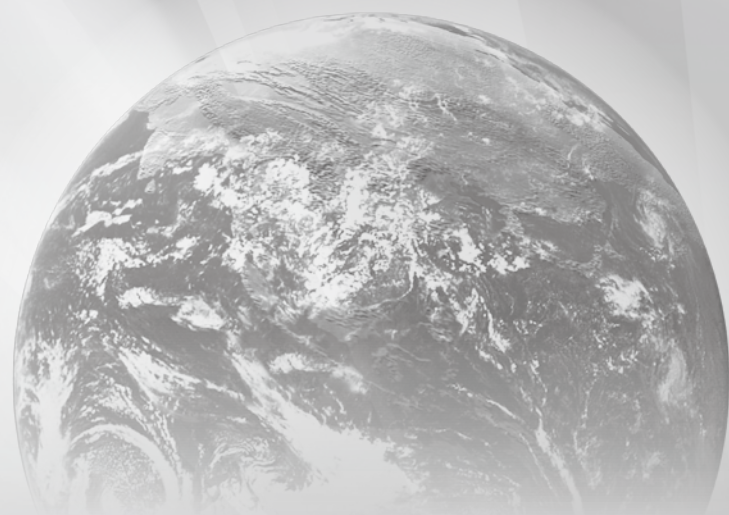
(株)シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F

TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 E-mail: info@renewableenergy.jp

<http://www.renewableenergy.jp>



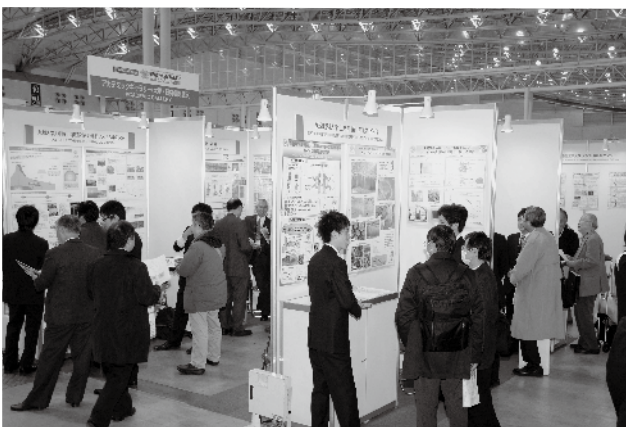
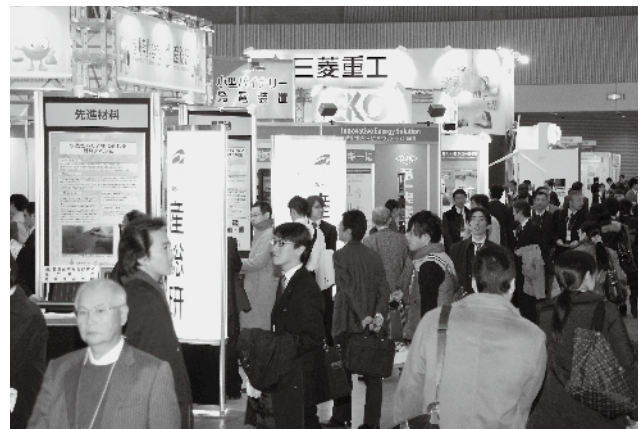
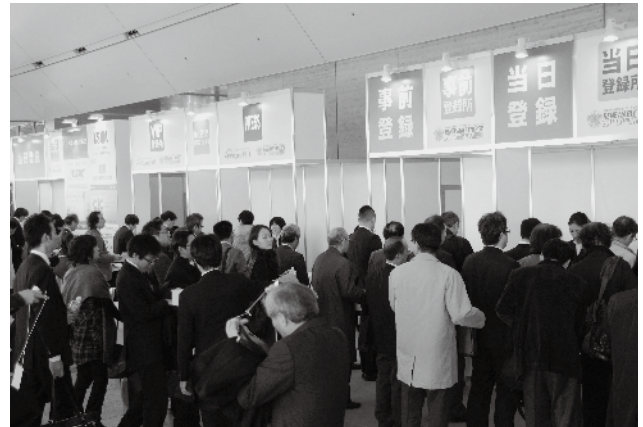
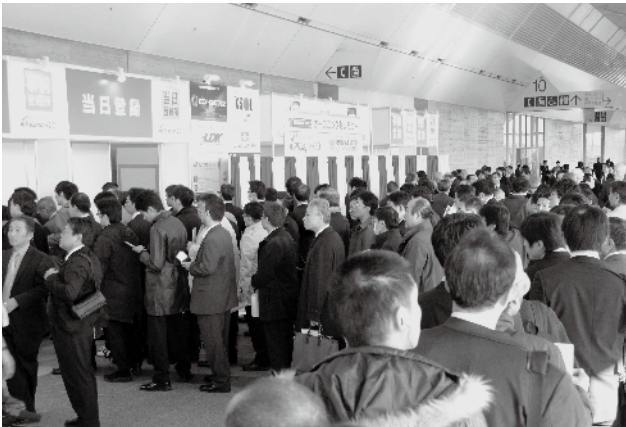


# CONTENTS

会場風景	2
開催概要	3
結果報告	4
オープニングセレモニー	5
来賓ご視察	6
VIPレセプション	7
出展者一覧	8
会場図	12
国際フォーラム	14
併催イベント	23
来場者分析	26
来場者アンケート	28
出展者アンケート	31
広報活動	36
広告見本	39
次回予告	表3



# 会場風景





# 開催概要

2011年12月5日(月)～12月7日(水) 10:00～17:00

幕張メッセ〔国際展示場/国際会議場〕

展示会入場料：無料(登録入場制)

同時開催：PVJapan 2011(共同主催：太陽光発電協会、SEMI)

主催：再生可能エネルギー協議会

共催：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人産業技術総合研究所、  
財団法人新エネルギー財団

後援：経済産業省、環境省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、総務省、内閣府、東京都、千葉県

特別協賛：公益財団法人高橋産業経済研究財団

協賛：電気事業連合会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人日本自動車工業会、石油連盟、  
一般社団法人日本ガス協会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本建設業連合会、  
一般社団法人電子情報技術産業協会、社団法人日本水道工業団体連合会、  
一般社団法人日本機械学会、社団法人電気学会、公益社団法人日本化学会、社団法人日本建築学会、  
社団法人空気調和・衛生工学会、社団法人電気化学会、公益社団法人化学工学会、  
一般社団法人日本エネルギー学会、社団法人日本半導体製造装置協会、  
独立行政法人国立環境研究所、独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人海上技術安全研究所、  
独立行政法人国際農林水産業研究センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構、  
財団法人省エネルギーセンター、一般財団法人エンジニアリング協会、  
財団法人地球環境産業技術研究機構、公益財団法人日本科学技術振興財団、  
一般社団法人エネルギー・資源学会、日欧産業協力センター、  
リニューアブルエネルギー有効利用・普及促進機構、財団法人エネルギー総合工学研究所、  
財団法人日本エネルギー経済研究所、一般社団法人太陽光発電協会、日本太陽エネルギー学会、  
太陽光発電技術研究組合、社団法人ソーラーシステム振興協会、社団法人住宅生産団体連合会、  
財団法人建築環境・省エネルギー機構、社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本風力発電協会、  
一般社団法人日本風力エネルギー学会、日本小形風力発電協会、一般社団法人日本風工学会、  
風力発電推進市町村全国協議会、社団法人アルコール協会、社団法人日本有機資源協会、  
国際農業工学会、一般社団法人水素エネルギー協会、燃料電池開発情報センター、  
財団法人日本自動車研究所、燃料電池実用化推進協議会、海洋エネルギー・資源利用推進機構、  
公益社団法人日本船舶海洋工学会、日本海洋工学会、日本地熱学会、日本地熱開発企業協議会、  
特定非営利活動法人地中熱利用促進協会、財団法人電力中央研究所、  
財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター、一般社団法人日本熱供給事業協会、  
世界省エネルギー等ビジネス推進協議会、公益社団法人日本冷凍空調学会、  
社団法人日本冷凍空調工業会、一般社団法人ターボ機械協会

(順不同)

協力：フジサンケイ ビジネスアイ

# 結果報告

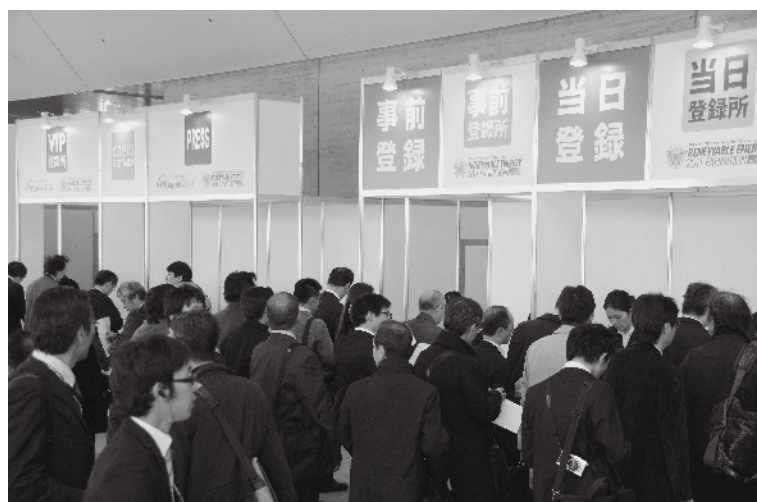
『再生可能エネルギー世界フェア』

開催規模 384社・団体、808小間

## 来場者数

日付	天気	来場者数
12月5日(月)	晴れ	<b>9,788名</b>
12月6日(火)	曇りのち雨	<b>10,661名</b>
12月7日(水)	晴れ	<b>17,145名</b>
合計		<b>37,594名</b>

※「PVJapan 2011」、「第6回再生可能エネルギー世界展示会」来場者合計





# 『再生可能エネルギー世界フェア』 「第6回新エネルギー世界展示会」／「PVJapan 2011」 オープニングセレモニー

と き：2011年12月5日(月) 午前9:40~10:00

と ころ：幕張メッセ 国際展示場2F エスプラナード(展示ホール9-11 2F 通路)

## 【1. 列席者紹介】

主催者 再生可能エネルギー協議会 代表

再生可能エネルギー協議会副代表 実行委員会副委員長

再生可能エネルギー協議会副代表 展示委員会委員長

一般社団法人太陽光発電協会 事務局長

SEMI プレジデント兼CEO

SEMIジャパン 代表

黒川 浩助

神本 正行

大和田 野芳郎

茅岡 日佐雄

デニー・マクガーク

中川 洋一



大和田 野芳郎

ご来賓 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部

新エネルギー対策課長

村上 敬亮 様



デニー・マクガーク

## 【2. 主催者あいさつ】

再生可能エネルギー協議会副代表 展示委員会委員長

大和田 野芳郎

SEMI プレジデント兼CEO

デニー・マクガーク

## 【3. 来賓ごあいさつ】

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部

新エネルギー対策課長

村上 敬亮 様



村上 敬亮 様

## 【4. テープカット】

列席者全員 計7名



## 来賓ご視察

コスタリカのチンチジャ・ミランダ大統領御一行様が12月7日に来場され、展示会の視察、AISTセッション内でのスピーチ、再生可能エネルギー協議会代表の黒川浩助をはじめとする国内の再生可能エネルギー関係者との昼食会を行いました。



その他、チュニジアから高官一行様、アルゼンチン大使一行様、カナダ大使一行様など多数ご来場いただきました。

### ○国内来賓

国会議員（衆議院議員山本拓様、鴨下一郎様、田島要様、参議院議員高山智司様）、環境事務次官南川秀樹様はじめ幹部多数、NEDO 理事長古川一夫様、AIST 理事長野間口有様など多数ご来場いただきました。



『再生可能エネルギー世界フェア』  
「第6回新エネルギー世界展示会」 / 「PVJapan 2011」  
**VIPレセプション**

と き：2011年12月5日(月) 午後17:30～19:00

ところ：幕張メッセ コンベンションホール

<b>◆ 開会の辞</b>	
再生可能エネルギー協会代表 東京工業大学ソリューション研究機構特任教授	黒川 浩助
<b>◆ 来賓挨拶</b>	
経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課課長補佐	添田 隆秀 様
<b>◆ 乾杯セレモニー登壇</b>	
経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー対策課 課長補佐	添田 隆秀 様
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部長	和泉 章 様
(独)産業技術総合研究所 環境・エネルギー分野 副研究統括	大和田野 芳郎 様
(独)産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター センター長	近藤 道雄 様
チュニジア共和国 駐日チュニジア大使	Elyes Kasri 様
シャープ(株) 執行役員 ソーラーシステム開発本部長	森本 弘 様
ソーラーフロンティア(株) 国内営業本部・海外営業本部サウジアラビアプロジェクト担当 常務執行役員	平野 敦彦 様
東京エレクトロン(株) 取締役会長	東 哲郎 様
三菱重工業(株) エネルギー・環境事業統括戦略室長	戸田 克彦 様
ヴェスタスウインドテクノロジージャパン(株) 代表取締役	Luke Eginton 様
再生可能エネルギー協会代表 東京工業大学ソリューション研究機構特任教授	黒川 浩助
SEMI プレジデント兼CEO	Denny McGuirk
<b>◆ 乾杯挨拶</b>	
シャープ(株) 執行役員 ソーラーシステム開発本部長	森本 弘 様
<b>◆ 中締め挨拶</b>	
SEMI プレジデント兼CEO	Denny McGuirk



# 出展者一覧

出展者名	小間番号
(株) IHI	R11-404
愛知工業大学 エコ電力研究センター	RE-22
地方独立行政法人青森県産業技術センター工業総合研究所	RE-17
(株) アトム環境工学	R11-314
アンシス・ジャパン (株)	R11-309
(株) イノアック住環境	R11-104
いわき四倉中核工業団地企業誘致促進協議会	R11-210
(株) WINPRO	R11-710
(株) ウェルシィ	R11-304
エアリアブランズ	R11-313
英弘精機 (株)	R11-405
エスケー・テック (株)	R11-604
(株) エヌ・ティー・エス	R11-501
大阪府立大学 エネルギーシステム工学研究室	RE-09
オーベントロップ (株)	R11-314
(株) オリテックス	R11-710
独立行政法人海上技術安全研究所	R11-301
公益財団法人科学技術交流財団	R11-310
カナダ大使館	R11-313
環境省関東地方環境事務所	R11-002
(株) 環境新聞社	R11-502
北九州市	R11-507
(国立大学法人) 九州大学	R11-506
九州大学大学院 工学研究院 地球熱システム学研究室	RE-05
京都環境ナノクラスター((財)京高度技術研究所)	R11-207
慶應義塾大学 佐藤春樹研究室+アルマザン研究室	RE-01
経済産業省関東経済産業局	R11-002
(株) 神戸製鋼所	R11-305
国際科学技術センター	R11-109
COSTA RICA INSTITUTE OF TECHNOLOGY	R11-108
(株) 駒井ハルテック	R11-706
コマツリフト (株)	R11-711
コンサーバルエンジニアリング社	R11-313
在日カナダ プリティッシュ・コロンビア州政府事務所	R11-313
サウンドアー モールディング アンド ミルワーク	R11-313
サステナブルエナジーテクノロジー社	R11-313
独立行政法人産業技術総合研究所	R11-203
自然エネルギー推進市民フォーラム (REPP)	R11-701
芝浦工業大学 機械機能工学科 エネルギー・環境技術研究室	RE-21
シャーウッドインダストリー	R11-313
(財) 新エネルギー財団	R11-003
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	R11-105
新むつ小川原 (株)	R11-206
ゼネラルヒートポンプ工業 (株)	R11-104
ソイルメックジャパン (株)	R11-104
(株) ソフトサービス	R11-506
(株) 第一実業	R11-306-1
ダイカポリマー (株)	R11-104
特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク	R11-702
玉川大学 ソーラーチャレンジプロジェクト	RE-03
多摩美術大学・東京電機大学 理工学部	RE-08
ダンサームパワー	R11-313
地域エネルギー・温暖化対策推進会議	R11-002
特定非営利活動法人地中熱利用促進協会	R11-104
地熱エンジニアリング (株)	R11-103
地熱技術開発 (株)	R11-103
千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 小倉研究室	RE-11
駐日英国大使館 貿易・対英投資部	R11-204

出展者名	小間番号
チュニジア共和国大使館	R11-110
チュニジア高等教育・科学研究省	RE-06・07
THK (株)	R11-603
(株) 寺田鉄工所	R11-312
(財) 電力中央研究所	R11-101
ドイツ科学・イノベーションフォーラム 東京	R11-107
ドイツ貿易・投資振興機関	R11-106
NPO 法人東京自由大学	RE-18
東京スカイツリータウン	R11-001
東京電機大学 工学部 電気電子工学科 ドライブシステム研究室	RE-15
東京理科大学 工学部 第一部工業化学科	RE-10
(株) 東武エネルギーマネジメント	R11-001
東武タウンソラマチ (株)	R11-001
東武タワースカイツリー (株)	R11-001
東武鉄道 (株)	R11-001
東邦地下工機 (株)	R11-104
徳山工業高等専門学校 機械電気工学科	RE-16
都市型新エネルギー研究会	RE-13
TRELLEBAY OFFSHORE	R11-302
永田 龍彦 (日本風力エネルギー協会個人会員)	RE-14
(株) 日刊工業新聞社	R11-503
日経BP社	R11-504
ニッコー (株)	R11-705
一般財団法人日本海事協会	R11-601
一般財団法人日本気象協会	R11-307
日本工営 (株)	R11-402
(株) 日本製鋼所	R11-708
日本大学 文理学部 中里研究室	RE-20
日本太陽エネルギー学会	R11-801
日本地熱開発企業協議会	R11-103
日本地熱学会	RE-04
一般社団法人日本熱供給事業協会	R11-202
一般社団法人日本風力エネルギー学会	R11-801
原田産業 (株)	R11-302
パワーテックラプズ	R11-108
(財) ヒートポンプ・蓄熱センター	R11-201
日立コンシューマ・マーケティング (株)	R11-411
Hitz 日立造船 (株)	R11-403
響灘地区開発推進協議会	R11-507
弘前大学 北日本新エネルギー研究所	RE-02
VISSMANN SOLAR ENERGY THERMO-COLLECTOR DACHANG CO., LTD.	R11-311
フェニックスエナジー	R11-313
フジサンケイ ビジネスアイ	R11-505
(株) FUJITA ビジネス・パートナーズ	R11-707
富士電機 (株)	R11-102
特定非営利活動法人プラネット ファイナンス ジャパン	RE-12
VESTAS ASIA PACIFIC WIND TECHNOLOGY PTE. LTD.	R11-605
(株) マーフィーシステムズ	R11-408
三重大学 エネルギー環境工学研究室	RE-19
三井造船 (株)	R11-410
三菱重工業 (株)	R11-508
南アフリカ共和国通産省/在京南アフリカ共和国大使館	R11-205
(株) 森川鑿泉工業所	R11-104
山梨県地中熱利用推進協議会	R11-104
(株) ユニバンス	R11-704
横浜市	R11-209
(株) ワイビーエム	R11-104



# Exhibitor's List

Exhibitor	Booth No.
AICHI SCIENCE AND TECHNOLOGY FOUNDATION	R11-310
AIRIA BRANDS INC.	R11-313
ANSYS JAPAN K.K.	R11-309
ATOM CO., LTD.	R11-314
BRITISH COLUMBIA TRADE AND INVESTMENT OFFICE	R11-313
BRITISH EMBASSY, TRADE & INVESTMENT DEPARTMENT	R11-204
CENTRAL RESEARCH INSTITUTE OF ELECTRIC POWER INDUSTRY	R11-101
CITY OF KITAKYUSHU	R11-507
CITY OF YOKOHAMA	R11-209
COLLEGE OF HUMANITIES AND SCIENCES, NIHON UNIV.	RE-20
CONSERVAL ENGINEERING INC.	R11-313
COSTA RICA INSTITUTE OF TECHNOLOGY	R11-108
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.	R11-306-1
DAIKA POLYMERS CO.,LTD.	R11-104
DANTHERM POWER	R11-313
DEPARTMENT OF TRADE AND INDUSTRY EMBASSY OF THE REPUBLIC OF SOUTH AFRICA, TOKYO	R11-205
DEPT. MECHANICAL AND ELECTRICAL ENGINEERING TOKUYAMA COLLEGE OF TECHNOLOGY	RE-16
DEPT. OF INDUSTRIAL CHEMISTRY, FACULTY OF ENGINEERING, TOKYO UNIV. OF SCIENCE.	RE-10
ECO-ELECTRIC POWER RESEARCH CENTER OF AICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY	RE-22
EKO INSTRUMENTS CO., LTD.	R11-405
EMBASSY OF CANADA	R11-313
EMBASSY OF THE REPUBLIC OF TUNISIA	R11-110
FENIX ENERGY	R11-313
FUJI ELECTRIC CO., LTD.	R11-102
FUJISANKEI BUSINESS I	R11-505
FUJITA BUSINESS PARTNERS CO.,LTD	R11-707
GEO-HEAT PROMOTION ASSOCIATION OF JAPAN	R11-104
GEOHERMAL ENERGY RESEARCH & DEVELOPMENT CO., LTD. (GERD)	R11-103
GEOHERMAL ENGINEERING CO., LTD. (GEO-E)	R11-103
GERMAN RESEARCH AND INNOVATION FORUM TOKYO	R11-107
GERMANY TRADE & INVEST	R11-106
GEO-HEAT PROMOTION ASSOCIATION, YAMANASHI PREF.	R11-104
HARADA CORPORATION	R11-302
HEAT PUMP AND THERMAL STORAGE TECHNOLOGY CENTER OF JAPAN	R11-201
HITACHI CONSUMER MARKETING, INC.	R11-411
HITACHI ZOSEN CORP.	R11-403
H. SATO AND H. ALMAZAN LABS. , KEIO UNIV.	RE-01
IHI CORP.	R11-404
INDUSTRIAL RESEARCH INSTITUTE, AOMORI PREFECTURAL INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH CENTER	RE-17
INOAC HOUSING & CONSTRUCTION MATERIALS CO.,LTD.	R11-104
INTERNATIONAL SCIENCE AND TECHNOLOGY CENTER (ISTC)	R11-109
IWAKI-YOTSUKURA INDUSTRIAL PARK	R11-210
JAPAN GEOTHERMAL DEVELOPERS' CUNCIL	R11-103
JAPAN HEAT SUPPLY BUSINESS ASSOCIATION	R11-202
JAPAN SOLAR ENERGY SOCIETY(JSES)	R11-801
JAPAN WEATHER ASSOCIATION	R11-307
JAPAN WIND ENERGY ASSOCIATION(JWEA)	R11-801
KANKYO SHIMBUNSHA CO., LTD.	R11-502
KANTO REGIONAL ENVIRONMENT OFFICE ,MOE ( MINISTRY OF THE ENVIRONMENT)	R11-002
KOBE STEEL, LTD.	R11-305
KOMAIHALTEC INC.	R11-706
KOMATSU FORK LIFT JAPAN, LTD.	R11-711
KYOTO ENVIRONMENTAL NANOTECHNOLOGY CLUSTER (ASTEM RI)	R11-207
KYUSHU UNIV.	R11-506
LAB. OF GEOTHERMICS, KYUSHU UNIV.	RE-05
METI-KANTO(KANTO BUREAU OF ECONOMY, TRADE AND INDUSTRY)	R11-002

Exhibitor	Booth No.
MIE UNIV., FLUID ENGINEERING LAB. FOR ENERGY AND ENVIRONMENT	RE-19
MINISTRY OF HIGHER EDUCATION AND SCIENTIFIC RESERCH	RE-06・07
MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES. LTD.	R11-508
MITSUI ENGINEERING & SHIPBUILDING CO.,LTD.	R11-410
MORIKAWASAKUSEN CO.,LTD.	R11-104
MURPHY SYSTEMS CO., LTD.	R11-408
NATIONAL INSTITUTE OF ADVANCED INDUSTRIAL SCIENCE AND TECHNOLOGY	R11-203
NATIONAL MARITIME RESEARCH INSTITUTE	R11-301
NEW ENERGY AND INDUSTRIAL TECHNOLOGY DEVELOPMENT ORG.	R11-105
NEW ENERGY FOUNDATION.	R11-003
NEW ENERGY STUDY ASSOCIATION IN CITY	RE-13
NIKKEI BUSINESS PUBLICATIONS, INC.	R11-504
NIKKO COMPANY	R11-705
NIPPON KAJI KYOKAI (CLASSNK)	R11-601
NIPPON KOEI CO., LTD.	R11-402
NORTH JAPAN NEW ENERGY RESEARCH CENTER, HIROSAKI UNIV.	RE-02
NPO TOKYO FREEDOM ACADEMY	RE-18
NTS INC.	R11-501
OGURA LAB., DEPT. OF URBAN ENVIRONMENT SYSTEMS, CHIBA UNIV.	RE-11
ORITEX CO., LTD.	R11-710
OSAKA PREFECTURE UNIV., ENERGY SYSTEMS ANALYSIS LAB.	RE-09
OVENTROP GMBH & CO. KG.	R11-314
PLANET FINANCE JAPAN	RE-12
POWERTECH LABS INC.	R11-313
PV OWNER NETWORK, JAPAN	R11-702
REGIONAL COMMITTEE ON ENERGY SOPPLY AND DEMAND AND PREVENTION OF GLOBAL WARMING	R11-002
RENEWABLE ENERGY PROMOTION PEOPLE'S FORUM	R11-701
SAUDER MOULDING & MILLWORK	R11-313
SHERWOOD INDUSTRIES LTD.	R11-313
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY, ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY LAB.	RE-21
SHIN-MUTSU-OGAWARA INC.	R11-206
SK TECH INC.	R11-604
SOFTSERVICE CO. LTD.	R11-506
SOILMEC JAPAN CO., LTD.	R11-104
SUSTAINABLE ENERGY TECHNOLOGIES	R11-313
TAMA ART UNIV. & TOKYO DENKI UNIV., SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING	RE-08
TAMAGAWA UNIV.	RE-03
TATSUHIKO NAGATA (INDIVIDUAL MEMBER OF JAPAN WIND ENERGY ASSOCIATION)	RE-14
TERADA IRON WORKS CO., LTD	R11-312
THE CONFERENCE ON THE DEVELOPMENT OF HIBIKI-NADA DISTRICT	R11-507
THE GEOTHERMAL RESEARCH SOCIETY OF JAPAN	RE-04
THE JAPAN STEEL WORKS, LTD.	R11-708
THE NIKKAN KOGYO SHIMBUN, LTD.	R11-503
THK CO., LTD.	R11-603
TOHO CHIKAKOKI . CO. LTD	R11-104
TOKYO DENKI UNIV., SCHOOL OF ENGINEERING, DEPT. OF ELECTRICAL AND ELECTRONIC ENGINEERING, DRIVE SYSTEM LAB.	RE-15
TOKYO SKY TREE TOWN	R11-001
TRELLEBAY OFFSHORE	R11-302
UNIVANCE CORP.	R11-704
VESTAS ASIA PACIFIC WIND TECHNOLOGY PTE. LTD.	R11-605
VISSMANN SOLAR ENERGY THERMO-COLLECTOR DACHANG CO.,LTD	R11-311
WELLTHY CORP.	R11-304
WINPRO CO., LTD.	R11-710
YBM CO., LTD.	R11-104
ZENERAL HEATPUMP INDUSTRY CO., LTD.	R11-104

出展者名
CLENERGY INTERNATIONAL
DAE YEONG METAL CO., LTD.
FAB-FINDER, INC.
ICOS
JURA SOLAR CO., LTD.
KLA-TENCOR
LDK SOLAR HI-TECH CO., LTD.
MBJ SOLUTIONS
NA
NINGBO ULICA SOLAR SCIENCE&TECHNOLOGY CO., LTD.
NOARK ELECTRIC (SHANGHAI) CO., LTD.
POWERFILM, INC.
PV MAGAZINE/ SOLARPRAXIS
Q-CELLS JAPAN
Q-CELLS SE
TIGO ENERGY, INC.
UPSOLAR CO., LTD.
YANGZHOU TIANHUA PV-TECH CO., LTD.
アーキヤマデ (株)
(株) IHI回転機械
アイコクアルファ (株)
(株) アイテス
(株) アクセシスターナショナル
(株) アツマネジ
(株) アドバンテック
(株) 天谷製作所
(株) アルバック
(株) イーケイジャパン
岩崎電気 (株)
(株) インコム
(株) インターアクション
INTERSOLAR
ヴェオリア・ウォーター・ジャパン (株)
(株) ウエストホールディングス
(株) エクサ
エクセル (株)
(株) エコ&エコ
ECOSOL PV TECH CO., LTD.
エコホールディングス (株)
STマイクロエレクトロニクス (株)
SUS (株)
(株) NTTスマイルエナジー
(株) NTTファシリティーズ
(株) エヌビシー
(株) エネルギーフォーラム
(株) 荏原製作所
社団法人応用物理学会
オー・ジー (株)
(株) 大阪真空機器製作所
大阪大学産学連携本部
大阪大学産業科学研究所
大阪大学 超精密科学研究センター
大阪プラント (株)
大阪府立大学
大津鉄工 (株)
オーナンバ (株)
(株) オーム社
奥地建産 (株)
音羽電機工業 (株)
(株) オプトリサーチ
(株) オプトロニクス社
米国オレゴン州政府駐日代表部
(株) 化学工業日報社
(株) ガスレビュー
財団法人神奈川科学技術アカデミー
神奈川工科大学
カナディアン・ソーラー・ジャパン (株)
(株) カネカ
(株) 荏原電産
(株) 荏原フィールドテック
川崎重工業 (株)
河村電器産業 (株)
岐阜大学 杉浦・吉田研究室
九州工業大学 早瀬研究室
九州工業大学 和泉研究室
京セラ (株)
グリーンテック (株)
(株) クリエイティブテクノロジー
クリマテック (株)
GLOBAL SOLAR ENERGY, INC.

出展者名
(株) ケミトックス
(株) コスモサウンド
コスモ電機 (株)
コナルカ・テクノロジー・ジャパン (株)
コニカミノルタセンシング (株)
財団法人材料科学技術振興財団
(株) 三永電機製作所
サンエジソンジャパン (株)
(独) 産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター
(株) 産業タイムズ社
サンテックパワージャパン (株)
山洋電気 (株)
三洋電機 (株)
三洋貿易 (株)
(株) GWソーラー
Jソーラー (株)
ジェー・イー・ウーラム・ジャパン (株)
(株) 資源総合システム
(株) 島津製作所
シャープ (株)
上海華頌実業有限公司
一般社団法人ショッポトレーラー振興協会
米国ジョージア州商務省
新栄電子計測器 (株)
信越ポリマー (株)
神港精機 (株)
(株) スケッチ
スバル興業 (株)
住ベシート防水 (株)
セイコーエプソン (株)
SEMI
蘇州泉林電子科技有限公司
(株) 相馬光学
(株) ソーラーシステム研究所
ソーラーパス
ソーラーフロンティア (株)
ソブレイソーラー (株)
大同特殊鋼 (株)
大日本印刷 (株)
DYMEK ASIA JAPAN (株)
太陽光サポートセンター (株)
太陽光発電協会
太陽日酸 (株)
立山化成 (株)
立山化成商事 (株)
千歳科学技術大学
長州産業 (株)
DKSHジャパン (株)
テサテプ (株)
米国テネシー州政府日本事務所
テュフラインランドジャパン (株)
(株) 電子ジャーナル
(株) 電波新聞社
桐蔭横浜大学 宮坂研究室
東京エレクトロ (株)
東京応化工業 (株)
東京工業大学 産学連携推進本部
東京工業大学小長井研究室・山田研究室
東京大学 先端科学技術研究センター
東京大学 先端科学技術研究センター 瀬川研究室
東京農工大学 上迫研究室
東京理科大学 荒川研究室
(株) 東芝
東北大学金属材料研究所 低炭素社会基盤材料融合研究センター
(株) 東洋経済新報社
(株) 東陽テクニカ
(株) トクヤマ
(株) トムコ
豊橋創造大学
長岡技術科学大学電気系 レーザー応用工学研究室 半導体工学研究室
(株) ナガセインテグレックス
(株) 中家製作所
名古屋工業大学 大型設備基盤センター
(有) ナビ
新潟県企業局
(株) 日刊工業新聞社
日経BP社
(株) 日新システムズ

出展者名
日新電機 (株)
日清紡メカトロニクス (株)
日晴金属 (株)
日東工業 (株)
NIPエンジニアリング (株)
日本板硝子 (株)
(株) 日本エコシステム
日本エマソン (株) プランソン事業本部
日本カーネルシステム (株)
日本開閉器工業 (株)
日本化学 (株)
日本セミラボ (株)
電子学園 日本電子専門学校
(株) 日本ビジネス出版
(株) 日本ビスコ
日本ヒルティ (株)
日本フォームサービス (株)
(株) 日本マイクロニクス
日本リニューアブルエナジー (株)
(株) 日本レーザー
ネグロス電工 (株)
ネミーエネギーソリューションズ (株)
ノースカロライナ州政府日本事務所
(株) パーコーコーポレーション
ハイウイン (株)
長谷川電機工業 (株)
パナソニック (株)
パナソニック電工 (株)
浜松ホトニクス (株)
(有) パンズ
(株) 光エネルギー研究所
(株) 光機械製作所
日立造船 (株)
平田工業 (株)
(株) フィットトヨックス
(株) フェローテック
(株) フォトボルテック
(株) フジキン
富士スレート (株)
フジプレナム (株)
古河電気工業 (株)
ブロンコスト・ジャパン (株)
(株) フロンティアコンサルティング
分光計器 (株)
ヘレウス (株)
ペンシルベニア州政府日本代表事務所
北海道大学
北海道千歳市
ホトニクスワールドコンソーシアム
本田技研工業 (株)
(株) ホンダソルテック
(株) マキテック
マルチ計測器 (株)
丸文 (株)
ミズーリ州政府経済開発局
三菱電機 (株)
(株) ムラカミ
(株) 明電舎
明徳貿易 (株)
MEDIA MOBILE (株)
(株) 安川電機
山形県立東根工業高等学校
山下電装 (株)
ユニバー (株)
ユニバーサルソーラーセル研究会
YOCASOL (株)
横店集団東磁股イ分有限公司
(株) ライジングコーポレーション
(株) ランドマークテクノロジー
(株) リガク
(株) リック
立命館大学
LINUO POWER
(株) LOOOP
レーザーテック (株)
(株) ワコム研究所
(株) ワコム製作所
(株) ワコム電創
(株) 渡辺商行





Exhibitor
ACCESS INTERNATIONAL CO.LTD.
ADVANTEC CO., LTD.
AIKOKU ALPHA CORP.
AMAYA CO., LTD.
ARAKAWAWA LAB. TOKYO UNIV. OF SCIENCE
ARCHITECTURAL YAMADE CORP.
AZUMANEJI CO., LTD.
BRANSON ULTRASONICS DIV. EMERSON JAPAN, LTD.
BRONKHORST JAPAN K.K.
BUNKOUKEIKI CO., LTD.
BUREAU OF PUBLIC ENTERPRISE NIIGATA PREF. GOV.
CANADIAN SOLAR JAPAN K.K.
CHEMITOX, INC.
CHITOSE INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
CHOSHU INDUSTRY CO., LTD.
CITY OF CHITOSE HOKKAIDO
CLENERGY INTERNATIONAL
CLIMATEC, INC.
COMMONWEALTH OF PENNSYLVANIA DEPT. OF COMMUNITY AND ECONOMIC DEVELOPMENT JAPAN REPRESENTATIVE OFFICE
COSMO ELECTRIC CO., LTD.
COSMO SOUND CO., LTD.
CREATIVE TECHNOLOGY CORP.
DAE YEONG METAL CO., LTD.
DAI NIPPON PRINTING CO., LTD.
DAIDO STEEL CO., LTD.
DEMPA PUBLICATIONS, INC.
DKSH JAPAN K.K.
DYMEK ASIA JAPAN CO., LTD.
EBARA CORP. P09-204
EBARA DENSAN LTD.
EBARA FIELD TECH
ECO HOLDINGS CO., LTD.
ECOSOL PV TECH CO., LTD.
ECOSYSTEM JAPAN CO., LTD.
ECO&ECO CO.,LTD.
EK JAPAN CO., LTD.
ELECTRONIC JOURNAL, INC.
ENERGY FORUM CO., LTD.
EXA CO., LTD.
EXCEL INC.
FAB-FINDER, INC.
FERROTEC CORP.
FITT-TOYOX CO., LTD.
FOUNDATION FOR PROMOTION OF MATERIAL SCIENCE AND TECHNOLOGY OF JAPAN
FRONTIER CONSULTING CO., LTD.
FUJIKIN INC.
FUJIPREAMP CORP.
FUJISLATE
FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD.
GEORGIA DEPARTMENT OF ECONOMIC DEVELOPMENT
GIFU UNIV. SUGIURA AND YOSHIDA LAB.
GLOBAL SOLAR ENERGY, INC.
GREENTEC CO., LTD.
GWSOLAR
HAMAMATSU PHOTONICS K.K.
HASEGAWA ELECTRIC CO., LTD.
HENGDIAN GROUP DMEGC MAGNETICS CO., LTD.
HERAEUS K.K.
HIGASHINE TECHNICAL HIGH SCHOOL
HIKARI KIKAI SEISAKUSHO CO., LTD.
HILTI JAPAN, LTD.
HIRATA KOGYO
HITACHI ZOSEN CORP.
HIWIN CORP.
HOKKAIDO UNIV.
HONDA MOTOR CO., LTD.
HONDA SOLTEC CO., LTD.
ICOS
IHI COMPRESSOR AND MACHINERY CO., LTD.
INCOM CO., LTD.
INSTITUTE OF SCIENTIFIC AND INDUSTRIAL RESEARCH, OSAKA UNIV.
INSTRUMENT AND RESEARCH TECHNOLOGY CENTER, NAGOYA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
INTEGRATED MATERIALS RESEARCH CENTER FOR A LOW-CARBON SOCIETY, IMR, TOHOKU UNIV.
INTER ACTION CORP.
INTERNATIONAL TEST & ENGINEERING SERVICES CO., LTD.
INTERSOLAR
J SOLAR K.K.

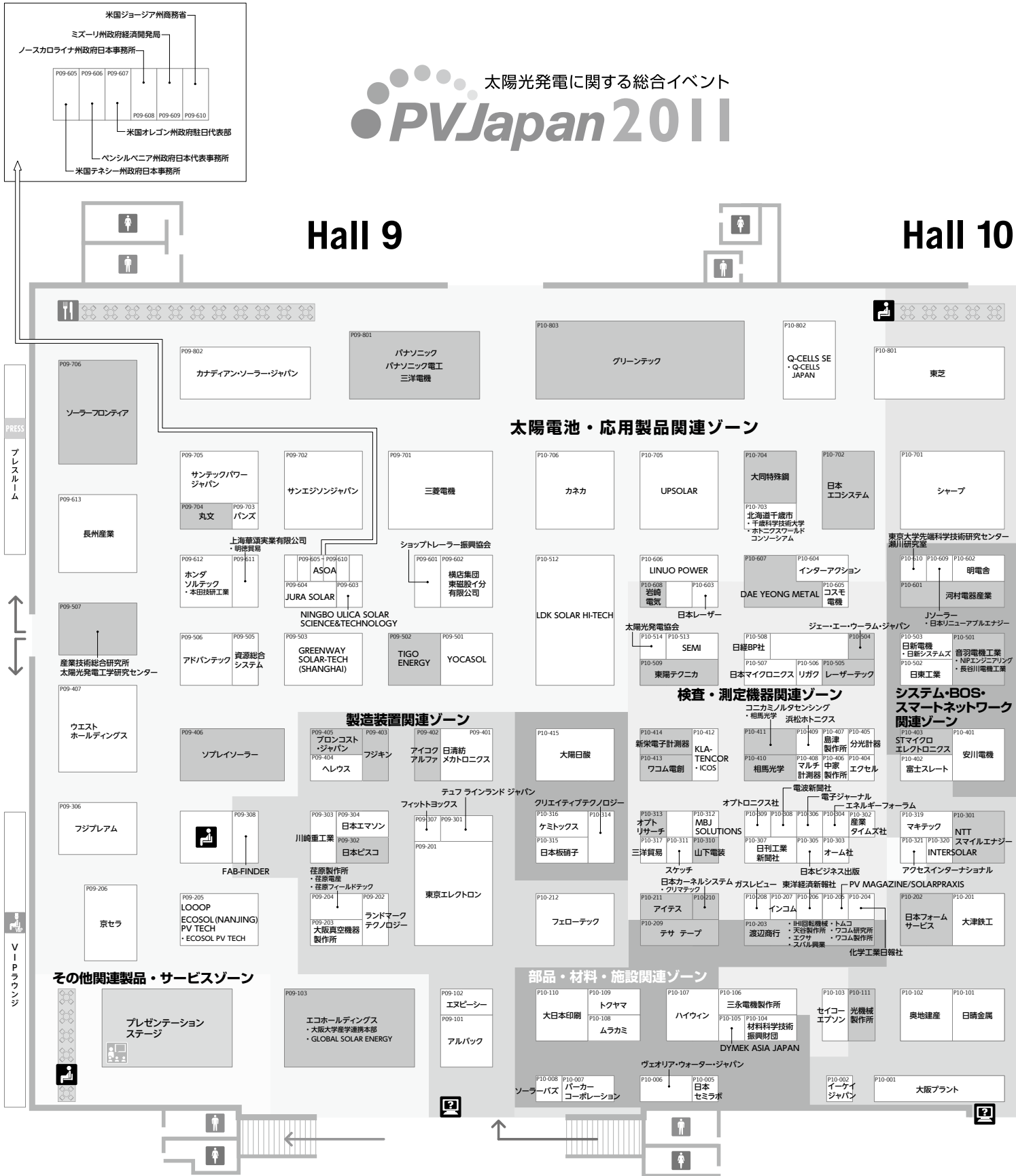
Exhibitor
IWASAKI ELECTRIC CO., LTD.
J.A.WOOLLAM JAPAN CORP.
JAPAN BUSINESS PUBLISHING CO., LTD.
JAPAN ELECTRONICS COLLEGE
JAPAN LASER CORP.
JAPAN PHOTOVOLTAIC ENERGY ASSOCIATION
JURA SOLAR CO., LTD.
K.K.GAS REVIEW
KANAGAWA ACADEMY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
KANEKA CORP.
KAWAMURA ELECTORIC INC.
KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES
KLA-TENCOR
KONAGAI LAB. & YAMADA LAB., TOKYO INSTITUTE OF TECHNOLOGY
KONARKA TECHNOLOGIES JAPAN K.K.
KONICA MINOLTA SENSING, INC.
KYOCERA CORP.
KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY HAYASE LAB.
KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY, IZUMI LAB.
LANDMARK TECHNOLOGY CORP.
LASERTEC CORP.
LDK SOLAR HI-TECH CO., LTD.
LINUO POWER
LOOOP, INC.
M. WATANABE & CO., LTD.
MAKITECH CO., LTD.
MARUBUN CORP.
MBJ SOLUTIONS
MEDIA MOBILE CO., LTD.
MEIDENSHA CORP.
MEITOKU TRADING CO., LTD.
MICRONICS JAPAN CO., LTD.
MITSUBISHI ELECTRIC
MIYASAKA LAB, TOIN UNIV. OF YOKOHAMA
MULTI MEASURING INSTRUMENTS CO., LTD.
MURAKAMI CO., LTD.
NA
NAGAOKA UNIV. OF TECHNOLOGY
NAGASE INTEGREGX CO., LTD.
NAKAYA CORP.
NAVI CO., LTD.
NEGUROSU DENKO CO., LTD.
NEMY ENERGY SOLUTIONS, INC.
NIHON RENEWABLE ENERGY CORP.
NIHON FORM SERVICE CO., LTD.
NIHON PISCO CO., LTD.
NIKKEI BUSINESS PUBLICATIONS, INC.
NINGBO ULICA SOLAR SCIENCE&TECHNOLOGY CO., LTD.
NIP ENGINEERING INC.
NIPPON KERNEL SYSTEM CO., LTD.
NIPPON SHEET GLASS CO., LTD.
NIPPONKAYAKU
NISSEIKINZOKU LTD.
NISSHINBO MECHATRONICS INC.
NISSIN ELECTRIC CO., LTD.
NISSIN SYSTEMS CO., LTD.
NITTO KOGYO CORP.
NKK SWITCHES - NIHON KAIHEIKI IND. CO., LTD.
NOARK ELECTRIC (SHANGHAI) CO., LTD.
NPC INC.
NTT SMILE ENERGY
NTT FACILITIES, INC.
OG CORP.
OHMSHA, LTD.
OKUJIKENSAN
ONAMBA CO., LTD.
OPTO RESEARCH CORP.
OSAKA PLANT CO., LTD.
OSAKA PREFECTURE UNIV.
OSAKA UNIV. OFFICE FOR UNIV.- INDUSTRY, COLLABORATION, JOINT RESEARCH
OSAKA VACUUM, LTD.
OTOWA ELECTRIC CO., LTD.
OTSUTEKKO. CO., LTD.
PANASONIC CORP.
PANASONIC ELECTRIC WORKS CO., LTD.
PANS LTD.
PARKER CORP.
PHOTO ENERGY INST.
PHOTONICS WORLD CONSORTIUM
PHOTOVOL-TEC CO., LTD.

Exhibitor
POWERFILM, INC.
PV MAGAZINE/ SOLARPRAXIS
Q-CELLS JAPAN
Q-CELLS SE
QUANLIN ELECTRONICS
RCAST, THE UNIV. OF TOKYO
RESEARCH CENTER FOR ADVANCED SCIENCE AND TECHNOLOGY (RCAST), THE UNIV. OF TOKYO
RESEARCH CENTER FOR PHOTOVOLTAIC TECHNOLOGIES, AIST
RESEARCH CENTER FOR ULTRA PRECISION SCIENCE AND TECHNOLOGY, OSAKA UNIV.
RIC
RIGAKU CORP.
RISING CORP.
RITSUMEIKAN UNIV.
RTS CORP.
S. B. SHEET WATERPROOF SYSTEMS CO., LTD.
SAN-EI ELECTRIC CO., LTD.
SANGYO TIMES, INC.
SANYO DENKI CO., LTD.
SANYO ELECTRIC CO., LTD.
SANYO TRADING CO., LTD.
SEIKO EPSON CORP.
SEMI
SEMILAB JAPAN
SHANGHAI HUASONG ENTERPRISE CO., LTD.
SHARP
SHIMADZU CORP.
SHIN-EI ELECTRONIC MEASURING CO., LTD.
SHIN-ETSU POLYMER
SHINKO SEIKI CO., LTD.
SHOP-TRAILER ASSOCIATION
SKETCH CO., LTD.
SOLAR FRONTIER K.K.
SOLAR SYSTEM INSTITUTE, INC.
SOLARBUZZ
SOMA OPTICS, LTD.
SOPRAY SOLAR JAPAN CO., LTD.
STATE OF MISSOURI, DEPARTMENT OF ECONOMIC DEVELOPMENT
STATE OF NORTH CAROLINA JAPAN OFFICE
STATE OF OREGON JAPAN REPRESENTATIVE OFFICE
STATE OF TENNESSEE JAPAN OFFICE
STMICROELECTRONICS
SUBARU ENTERPRISE CO., LTD.
SUNEDISON JAPAN CORP.
SUNTECH POWER JAPAN CORP.
SUS CORP.
TAIYO NIPPON SANSO CORP.
TAIYOKOU-SUPPORT-CENTER CO., LTD.
TATEYAMA KASEI CO., LTD.
TATEYAMA KASEI SHOJI CO., LTD.
TESA TAPE K.K.
THE CHEMICAL DAILY CO., LTD.
THE JAPAN SOCIETY OF APPLIED PHYSICS
THE NIKKAN KOGYO SHIMBUN LTD.
THE OPTRONICS CO., LTD.
TIGO ENERGY, INC.
TOKUYAMA CORP.
TOKYO ELECTRON LTD.
TOKYO INSTITUTE OF TECHNOLOGY
TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.
TOKYO UNIV. OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY
TOMCO MFG LTD.
TOSHIBA CORP.
TOYO CORP.
TOYO KEIZAI INC.
TOYOHASHI SOZO UNIV.
TUV RHEINLAND JAPAN LTD.
ULVAC, INC.
UNIPER
UNISOL
UPSOLAR CO., LTD.
VEOLIA WATER JAPAN K.K.
WACOM ELECTRIC CO., LTD.
WACOM MANUFACTURING., LTD.
WACOM R&D., LTD.
WEST HOLDINGS CORP.
YAMASHITA DENSO CORP.
YANGZHOU TIANHUA PV-TECH CO., LTD.
YASKAWA ELECTRIC CORP.
YOCASOL INC.

## 太陽光発電に関する総合イベント PVJapan 2011

### Hall 9

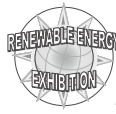
### Hall 10



**凡例**

- 出展者によるセミナー (Seminar by exhibitor)
- VIPラウンジ (VIP Lounge)
- ラウンジ(飲食なし) (Lounge (no food))
- ラウンジ(飲食あり) (Lounge (with food))
- ラウンジ(飲食なし) (Lounge (no food))
- PVJapanデモ実施ブース (PVJapan demo booth)
- 検索コーナー (Search corner)
- PRESS プレスルーム (Press room)
- 女子用トイレ (Women's toilet)
- 男子用トイレ (Men's toilet)





第6回再生可能エネルギー世界展示会 (再生エネルギー世界展示会より改称)

# RENEWABLE ENERGY 2011 EXHIBITION The 6th

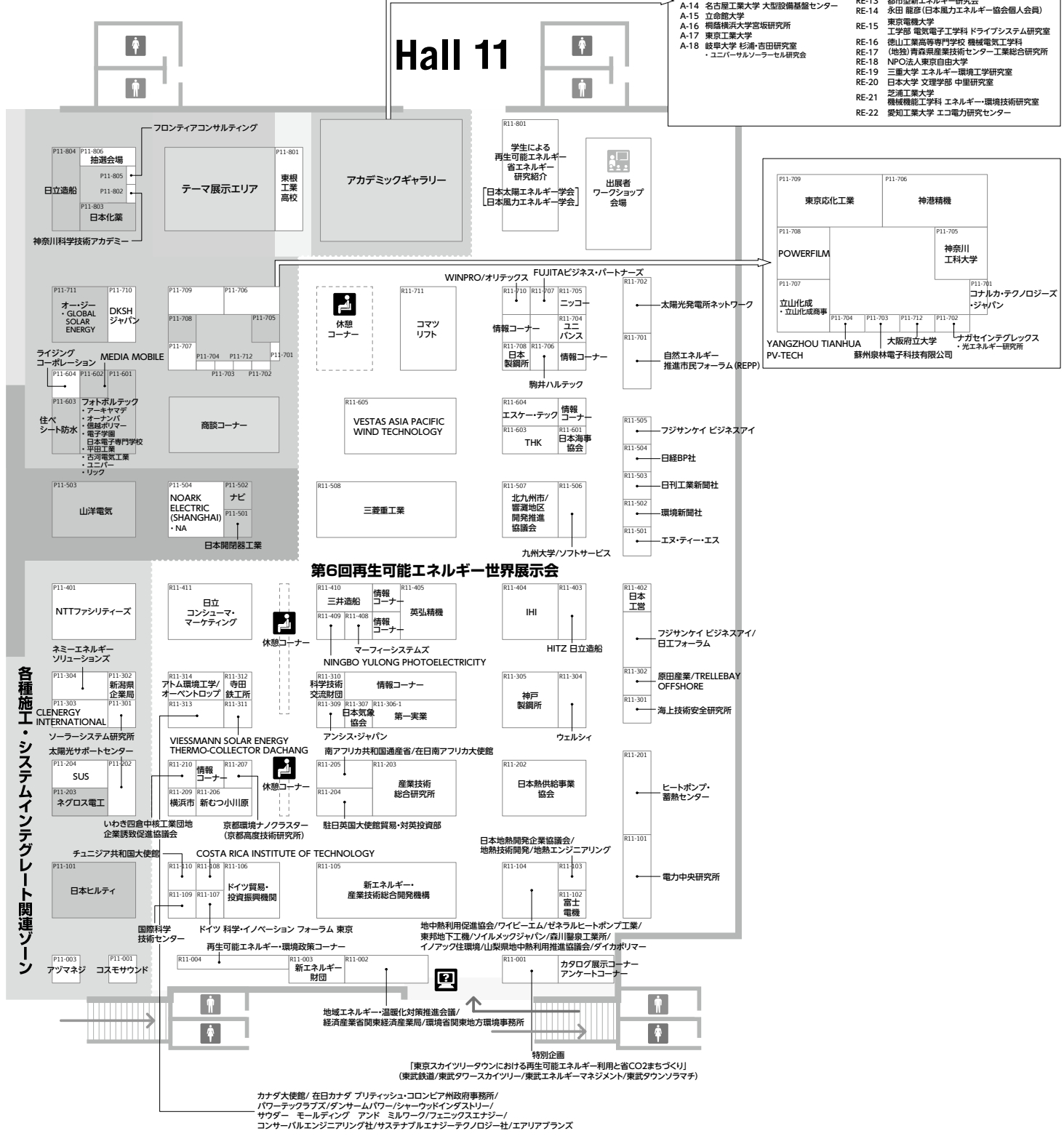
## Hall 11

### アカデミックギャラリー 出展者一覧

PVJapan 2011

第6回再生可能エネルギー世界展示会

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| A-01 応用物理学会                       | RE-01 慶徳義塾大学 佐藤春樹研究室                    |
| A-02 九州工業大学 早瀬研究室                 | A7アルマゲドン研究室                             |
| A-03 九州工業大学 和泉研究室                 | RE-02 弘前大学 北日本新エネルギー研究所                 |
| A-04 大阪大学 超精密科学研究所                | RE-03 玉川大学 ソーラーチャレンジプロジェクト              |
| A-05 大阪大学 産業科学研究所                 | RE-04 日本地熱学会                            |
| 長岡技術科学大学                          | RE-05 九州大学大学院 工学研究院                     |
| A-06 電気系レーザー応用工学研究室、<br>半導体工学研究室  | RE-06 チュニジア高等教育・科学研究所                   |
| A-07 東京工業大学 小長井研究室・山田研究室          | RE-07 多摩美術大学 東京電機大学 理工学部                |
| A-08 東京大学 先端科学技術研究センター            | RE-08 大阪府立大学 エネルギーシステム工学研究室             |
| A-09 東京農工大学                       | RE-09 東京理科大学 工学部 第一部工業化学科               |
| A-10 豊橋創造大学                       | RE-10 千葉大学大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 小倉研究室     |
| A-11 北海道大学                        | RE-11 特定非営利活動法人<br>プラネットファイナンスジャパン      |
| A-12 東京理科大学 第川研究室                 | RE-12 都市型新エネルギー研究会                      |
| 東北大学                              | RE-13 永田 節彦(日本風力エネルギー協会個人会員)            |
| A-13 金属材料研究所<br>低炭素社会基盤材料融合研究センター | RE-14 東京電機大学<br>工学部 電気電子工学科 ドライブシステム研究室 |
| A-14 名古屋工業大学 大型設備基盤センター           | RE-15 徳山工業高等専門学校 機械電気工学科                |
| A-15 立命館大学                        | RE-16 (地独)青森県産業技術センター-工業総合研究所           |
| A-16 桐蔭横浜大学宮坂研究室                  | RE-17 NPO法人東京自由大学                       |
| A-17 東京工業大学                       | RE-18 三重大学 エネルギー環境工学研究室                 |
| A-18 岐阜大学 杉浦 吉田研究室                | RE-19 日本大学 文理学部 中重研究室                   |
| ・ユバールソーラーセル研究室                    | RE-20 芝浦工業大学<br>環境技術研究所 エネルギー環境技術研究所    |
|                                   | RE-21 愛知工業大学 エコ電力研究センター                 |



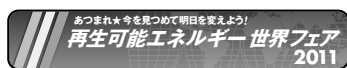
### 第6回再生可能エネルギー世界展示会

各種施工・システムインテグレーション関連ゾーン

特別企画  
「東京スカイツリータウンにおける再生可能エネルギー利用と省CO2まちづくり」  
(東武鉄道/東武タワースカイツリー/東武エネルギーマネジメント/東武タウンソラマチ)

カナダ大使館/ 在日カナダ アリテッシュ・コロムビア州政府事務所/  
パワーアップバス(ダンサーム)「ワール・シャワー・クワイエット・ストリート」/  
サウダー モルディング アンド ミルワーク/フェニクスエナジー/  
コンサルバエンジニアリング社/サステナブルエナジーテクノロジ社/エアリアプランズ

# 国際フォーラム



## 併催フォーラム一覧

12月5日(月)		
区分	タイトル	主催者
共同	再生可能エネルギー世界フェア2011基調講演	JCRE、JPEA、SEMI
RE [1]	JCREフォーラム(グリッド・モビリティ社会)	JCRE
RE [2]	JCREフォーラム(風力)	JCRE
RE [3]	JCREフォーラム(省エネルギー建築)	JCRE
RE [4]	JCREフォーラム(地熱・地中熱)	JCRE
PVJ [1]	Executive Forum	SEMI/JPEA
PVJ [2]	専門セミナー特別 アジアの結晶シリコン系太陽電池の動向	SEMI/JPEA
PVJ [3]	専門セミナー1 高信頼性・長寿命	SEMI/JPEA
PVJ [4]	専門セミナー2 材料・部材	SEMI/JPEA
PVJ [5]	SEMI Tutorial太陽光発電技術 結晶シリコン系太陽電池コース	SEMI
PVJ [6]	SEMI Tutorial太陽光発電技術 薄膜シリコン系太陽電池コース	SEMI
PVJ [7]	SEMIスタンダード日本地区PV(Photovoltaic)関連技術委員会	SEMI

12月6日(火)		
区分	タイトル	主催者
RE [5]	NEDOセッション	NEDO
RE [6]	JCREフォーラム(政策・統合概念)	JCRE
RE [7]	JCREフォーラム(バイオマス)	JCRE
RE [8]	JCREフォーラム(水素・燃料電池)	JCRE
RE [9]	JCREフォーラム(太陽熱利用)	JCRE
RE [10]	JCREフォーラム(中小水力・未利用エネルギー)	JCRE
PVJ [8]	専門セミナー3 マーケットトレンド	SEMI/JPEA
PVJ [9]	専門セミナー4 加工・評価技術	SEMI/JPEA
PVJ [10]	PV装置間通信SEMIスタンダードワークショップ	SEMI
PVJ [11]	専門セミナー5 結晶シリコン系太陽電池I	SEMI/JPEA
PVJ [12]	専門セミナー6 次世代太陽電池	SEMI/JPEA
PVJ [13]	SEMI Tutorial太陽光発電技術 有機太陽電池コース	SEMI
PVJ [14]	SEMI Tutorial太陽光発電技術 化合物(CIGS)太陽電池コース	SEMI
PVJ [15]	JPEAセミナー 「太陽光発電システムの設計と施工」改定4版解説	JPEA

12月7日(水)		
区分	タイトル	主催者
RE [11]	AISTセッション	AIST
RE [12]	JCREフォーラム(海洋エネルギー)	JCRE
RE [13]	JCREフォーラム(ヒートポンプ・熱エネルギー)	JCRE
PVJ [16]	専門セミナー7 薄膜系太陽電池	SEMI/JPEA
PVJ [17]	専門セミナー&電力システム・アプリケーション	SEMI/JPEA
PVJ [18]	住宅用太陽光発電の現状とシステム設置技能習得制度	JPEA
PVJ [19]	海外の太陽光発電市場と日本企業の海外展開	JPEA

\*区分欄

共同	…… 再生可能エネルギー世界フェア2011 共同開催行事
RE	…… 第6回再生可能エネルギー世界展示会 開催行事(www.renewableenergy.jp)
PVJ	…… PVJapan 2011 開催行事(www.pvjapan.org)

\*主催欄

NEDO	…(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
AIST	……(独)産業技術総合研究所
JCRE	…… 再生可能エネルギー協議会
JPEA	…… 太陽光発電協会
SEMI	…… SEMIジャパン



12月5日(月)

共同 再生可能エネルギー世界フェア 基調講演

日時 2011年12月5日(月) 10:30~12:30 会場 幕張メッセ 2F 国際会議室

プログラム

1、主催者代表挨拶 (10:30~10:40) 再生可能エネルギー協議会 代表 黒川浩助	11:00~11:20 来賓挨拶および講演 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 調整官 和田篤也 様
2、基調講演 (10:40~12:30)	11:20~11:50 基調講演 独立行政法人科学技術振興機構 前理事長 北澤 宏一 様 演題「3.11以降の日本のエネルギーオプション」
10:40~11:00 来賓挨拶および講演 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長 新原 浩朗 様 (代理)経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・ 新エネルギー部 新エネルギー対策課長 村上 敬亮 様	11:50~12:30 基調講演 駐日カナダ大使 ジョナサン T. フリード 様 演題「カナダが世界のエネルギー安定化と環境に果たす役割 ~再生可能エネルギーの良きパートナーとして~」

主催者代表あいさつ要旨

再生可能エネルギー協議会 代表 黒川 浩助

おはようございます。先ず主催者を代表してご挨拶を申し上げます。再生可能エネルギー世界フェアは当初7月末に計画しておりましたが、3.11東日本大震災があり電力不足に貢献しようという思いから12月のこの時期に延期いたしました。震災で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。再生可能エネルギーは震災からの復旧復興に大いに貢献できるものであり既にいろいろなプロジェクトが立ち上がっております。私たちの活動は2006年、ここ幕張メッセで第1回国際会議を開催し、展示会も同時開催しました。当時は再生可能エネルギーと言っても世間にはあまりなじみのない言葉でありたくさんの質問を受けました。それが今では、ごく普通に使われるようになりました。私たちは第1回のときから“Advanced Technology Paths to Global Sustainability”をスローガンに活動し、現在はいろいろな選択肢のある「再生可能エネルギー」に関わる約70の学会や業界団体から協賛を得ております。言わば、あらゆる再生可能エネルギーを活かしていくための「ネットワークを結ぶネットワーク」を形成してきました。

今年は展示会に加えて約30の国際的なフォーラムを開催します。新しい特徴として再生可能エネルギーの大量導入に備えた予測技術、即ち気象分野とエネルギー分野を融合させた最先端技術についての発表があることです。また、展示会にはコスタリカやチュニジアからも派遣団が来訪されます。私たちは国際的な広がりをもつために、国際機関であるIEAやIRENA、国際的な学会であるISESなどともつながりを持って活動しております。

今後、社会システムとして、コミュニティや家庭に再生可能エネルギーがごく当たり前のインフラとして入っていくことが重要であり、再生可能エネルギー世界フェアはそのためにも最新技術を発信し重要な役割を果たしていきたいと考えております。当イベントは、太陽光発電協会とSEMIからなるPVジャパン、そして再生可能エネルギー協議会の2つの組織が共同開催しています。

再生可能エネルギーに深く関わる、経済産業省と環境省から興味深い来賓講演をいただきます。そして引き続き基調講演2件では、知的水準を大いに高めるお話がいただけると思います。最後までご聴講をよろしくお願い申し上げます。



再生可能エネルギー協議会 代表 黒川 浩助

●来賓講演

「新エネルギーの導入拡大に向けて」

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部  
新エネルギー対策課長 村上 敬亮 氏

経済産業省の村上です。再生可能エネルギー推進室長でもあります。よろしく申し上げます。

再生可能エネルギーの導入促進に向け、我が国では、2003年に、電力会社などに対し一定量の再生可能エネルギーの調達を義務付けるRPS制度を開始、それ以来、導入量は倍増、2010年には発電量が100億kWhを超えました。しかし、まだ、電力構成の1%に過ぎません。価格が高いのが一番の理由です。再生可能エネルギーには、CO<sub>2</sub>削減はもとより、エネルギー需給の安定化へ貢献するためにも、一層頑張ってもらい必要があります。

我が国の太陽光発電は約8割を住宅用に依存しています。現在90万世帯まで伸びましたが、一層の価格低下、蓄電池と組み合わせたモデルの普及など、様々な工夫を通じて更に大きく伸ばしていくことが必要です。また、メガソーラーは、CSR用途や実証用途のものが中心で、本格的な事業用途は、まさに今年がスタートです。マンションや公共施設など10kW以上の市場も重要な未開拓分野です。

風力発電は、現在、全国に479事業所ありますが、小規模の事業所が多いのが特徴です。乱流、雷など気象条件も欧米に比べて厳しい自然条件に晒されており、経営面でも厳しい事業所が多く、加えて、風況のよいところには、系統がきていない、農地法や森林法、自然公園法の規制もある、といった課題があります。風力発電の更なる導入拡大には、固定買取価格制度の戦略的活用ばかりでなく、系統問題の解決、合理的な立地の確保に向けた規制緩和、これら三つを並行して進めていくことが不可欠です。

地熱については、我が国は世界3位の地熱資源国です。しかしその1割しか使えていないのが実態で、その理由は、8割が規制の残る自然公園内にあるからです。こうした自然公園や温泉といかに共存しながら開発を進められるかが課題です。水力については適地をいかにきめ細かく探すか、バイオマスについては採算性まで含めた無理のないビジネスモデルをいかに確立するかが課題です。

再生可能エネルギーの導入拡大には、固定価格買取制度はもちろんのこと、規制緩和、系統整備など、合理的な立地条件の確保に向けた施策を並行して進めていくことが欠かせません。また、さらには日本の自然条件に適した技術の開発・普及も必要です。掛け声だけでは前進しません。忌憚のない意見を寄せていただければと思います。



村上 敬亮 氏

## ●来賓講演

### 「新エネルギーの導入拡大に向けて」

環境省地球環境局 地球温暖化対策課 調整官 和田 篤也 氏

再生可能エネルギーの明るい将来をお話ししたいと思います。地域偏在性やコストが高いという短所はありますが、我が国で再生可能エネルギーがどれ位導入可能かを先ず知る必要があります。すべての制約を除外して賦存量を算出、それに制約を加えた導入ポテンシャルを算出しました。制約については、風力を例にとれば自然公園法での規制地域、原生自然環境保全地域、鳥獣特別保護地区、世界自然遺産地域、保安林区域、さらには風速5.5m/s以下の地域や標高1,000m以上の地域には設置できないと仮定し設置可能地域から除外しました。この導入ポテンシャルをもとにシナリオ別導入量を算出しました。現状のコストをベースにしたFIT対応シナリオ、設備コストが大幅に下がることを予測した技術革新シナリオ、それに、固有的に考えられる諸条件の変更等を想定した参考シナリオを考えました。その結果、FIT対応ベースでも風力発電の導入ポテンシャルが陸上のみで2,400～14,000万kWと圧倒的に多いことが分かりました。地域的には、風力発電の適地は、北海道と東北、九州の一部に分布しています。一方、太陽光の照射量は風力ほど偏在はありません。洋上風力も今後有望であり、環境省としては既に五島列島で100kWの洋上風車の実証に取りかかっております。台風、漁協調整、環境アセスメントへの対応をキーワードとして取り組んでいきます。

中小水力もそこそこ有望ですが、やはり地熱利用が今後の大きな課題です。自然公園法の規制も指摘されておりますが、特に配慮を要する点として、「地元との合意形成」が重要です。事業開発の許認可権限は地元自治体の実質的な権限を持っていることが多いです。福島県でも復興の一環として取り上げられており、環境省としても地元自治体の取組みを支援していきたいと考えております。その他のチャレンジとして、風力では環境アセスメントの長期化に伴う負担軽減、地熱では温泉業界との合意形成促進にも取り組んでいきたいと考えております。再生可能エネルギーの受容量を増やすという意味から予算要求が認められれば蓄電技術についてもチャレンジしていきます。

経済産業省や国土交通省などとも連携を密にしながら、自立分散型のエネルギーシステム開発に力を入れていきたいと考えております。再生可能エネルギーは温暖化対策として取り組まれてきましたが震災後は必要不可欠なエネルギーになり、これが新しい日本市場の展開につながっていけばより素晴らしいことであると考えております。



和田 篤也 氏

## ●基調講演

### 「新エネルギーの導入拡大に向けて」

独立行政法人科学技術振興機構 顧問(前理事長) 北澤 宏一 氏

私は、エネルギー選択と経済環境というテーマでお話しをしたいと思います。「国家100年の計」としてのエネルギー選択は再生可能エネルギーしかありません。短期的には北米で開発されたシェールガス掘削技術の影響により、つなぎとしてのエネルギーに従来計画からの変化が生じはじめています。しかしながら、シェール採用による温暖化ガス排出削減も十分でないので、長期的には再生可能エネルギーが世界的に伸びていきます。2010年、世界が再生可能エネルギーに投資した金額は20兆円に達し、この6年間で10倍と急速な伸びを示しています。この勢いですと後数年で再生可能エネルギー産業は自動車産業を抜く勢いです。しかし、日本の投資は先進国中最低レベルで、国民一人あたりでも中国より低い水準、ドイツの10分の1でしかありません。我が国はこの新産業に積極的に参入し、新たな技術の強みを作り、21世紀の日本の得意産業としていく必要があります。そのためには、国内での市場導入も積極的に行われなくてはなりません、設備投資を推進する「しかけ」を行政がしっかりと作っていかねばなりません。現在検討中の「電力固定価格買取制度」は要となるしかけです。政府にはお金がないので、このしかけは民間の資金を投資していく必要があります。幸いにして日本は世界最大の対外純資産約260兆円を有し、また、瞬間風速的にも毎年20兆円以上の巨額な経常収支黒字を出す稀有な国であります。そしてその黒字を毎年さらに海外投資にまわしています。このうちの5兆円程度を国内投資に振り向けるには、電力固定価格制度などの市場導入策が政府の確固たる意志によって推進されていかねばなりません。そうすることによってだぶついている日本の投資がすべて海外に向かうのではなく、一部が国内にも振り向けられることになります。日本は巨額な経常収支の黒字が25年以上も続き、とどめなき円高に苦しむ国でありますので、国内に再生可能エネルギー設備が設置されることによって、内需と輸入が増えることは10兆円程度までは何の問題もないはずです。

我が国の経済と再生可能エネルギーへの投資を考えると、次の数値をしっかりと把握する必要があります。日本の娯楽費は年約100兆円(うちパチンコ産業の大きさは20～25兆円)、日本が1年間に輸入する化石燃料の代金(20～25兆円)、電力産業の年売上げは15兆円(うち原子力発電産業は4兆円)、電力費が上がることによって国際競争力が失われるとする日本の電炉産業の総規模1兆円、世界の原子炉新設の総投資額年1～2兆円(将来的に年間新設が現在の2～4基から8基程度に増えると仮定するとその倍)、世界の再生可能エネルギー設備投資額現在20兆円(6年で10倍に拡大中)、我が国の所得収支黒字と貿易収支黒字を合わせると毎年20兆円、これがさらに毎年海外に投資されております。

日本学術会議エネルギー政策選択分科会では、3.11以降、冷静な議論を可能とするために6つのシナリオを作成してエネルギー導入のあり方を検討、結果を日本学術会議のホームページに掲載しております。2020年にCO<sub>2</sub>削減25%を前提とすると、再生可能エネルギーに毎年3～5兆円の投資が必要です。これはドイツが現在投資している程度です。投資金額を電気料金に反映させると標準世帯での電気料金は、現在月6,000円のもの2020年頃には8,000円程度になることが予想されます。これは今後の技術開発による価格低下をかなり保守的に見積っています。実際はこんなに高くならないだろうと楽観的に予想する人もいます。

日本でもやっとこれから再生可能エネルギーが生かされてくる時がきました。このための技術を日本の21世紀の大事な技術に育てていく必要を感じています。



北澤 宏一 氏





## ●基調講演

### 「新エネルギーの導入拡大に向けて」

#### 駐日カナダ大使 Mr. Jonathan T. Fried

皆さんこんにちは。駐日カナダ大使のフリードです。

世界のエネルギー事情の動向を見ると、燃料価格の不安定さ、化石燃料をめぐる環境の変化、原子力の見直し、エネルギー政策など多くの課題があります。そうした中、カナダはエネルギーの安全保障、持続的な社会づくり、国家間の協調や環境問題、生物多様性への対応など、あらゆる面で世界に貢献しています。G8、国際エネルギー機関、国連などでも主要参加国として活動しております。

カナダには豊富な天然資源があり、石油埋蔵量は世界第3位、天然ガス、シェールガスの輸出大国でもあり、日本からの投資も数多く見られます。カナダにも原子力発電所はありますが、長期にわたり堅実な運転を行ってきております。カナダの電源構成は水力が半分以上を占め、原子力が約15%、残りが化石燃料で、バイオマスなど含めた再生可能エネルギーの占める割合は実に全体の6割以上です。カナダは温暖化防止にも力を入れており、ここ20年間で温室効果ガスを大幅に削減しました。

次に、カナダの再生可能エネルギー分野の概要ですが、中小規模の企業活動が大きな役割を占めています。再生可能エネルギーは利益が出ないと言われていますが、カナダでは2兆円以上の売上をあげています。カナダは様々な再生可能エネルギー産業の育成に積極的に取り組んでおります。例えば、カナダの1人あたりのバイオマス資源量は世界最大で、セルロース系のエタノール利用やバイオマス発電も盛んです。また、水力発電においては世界第3位を誇り、特に、中小水力発電を強みとしています。カナダに500ある水力発電所の367カ所が中小規模です。風力発電も広大な土地や数々の政府支援策を活用し、現在5,000MW導入されており、今後も確実な成長が見込まれています。風力発電と燃料電池を組み合わせたケースも多く、土地柄、寒冷地の対策にも秀でています。太陽光、太陽熱については専門技術を豊富に有しており、北米初の太陽熱を利用したコミュニティがあります。海洋エネルギーでは、潮流発電、波力発電に適した環境があり、ノバスコシア州には20MW規模の潮流発電所があります。さらに、水素・燃料電池分野では世界のパイオニアとして知られています。ブリティッシュコロンビア州には水素・燃料電池クラスターが、トロントには水素村があり、省エネ、スマート化など様々な技術を生み出しています。建築分野においても、省エネに力を入れており、資材、デザイン、耐震性など多面的な研究開発が行われています。さらに、温暖化対策の一環として、カナダ政府は二酸化炭素貯蓄プロジェクトに約3500億円の支援を提供するなど長期的観点で取り組んでいます。このように、カナダは世界最大級のグリーンエネルギー投資国と言えるでしょう。

また、研究開発も活発に行っており、エネルギーに特化した優れた研究機関が複数存在します。政府も資金援助や税控除など数々の支援策を講じています。カナダには、低い事業コスト、安定したインフラ、研究開発やイノベーションへの支援、優秀な人材という強みがあり、投資に適した環境を提供しています。

最後に、日本との関係ですが、カナダと日本はお互いに重要な貿易・投資相手国であり、科学技術においても25年に及ぶパートナーシップを築きあげてきました。再生可能エネルギー分野でも、企業間、また研究機関同士の協力事例がいくつも挙げられます。カナダには豊富な資源があり、日本には限られた資源を有効活用するための優れた技術があります。両国ともにサステナブルなエネルギーを目指しており、再生可能エネルギーを拡大するべく積極的に取り組んでいます。エネルギー問題の解決のために、お互いの強みを生かし、今後両国のパートナーシップがますます発展していくことを強く望んでいます。



Mr. Jonathan T. Fried





**RE [1] JCREフォーラム：「グリッド・モビリティ社会」セミナー**

～未来を拓くスマートグリッドの先端技術を紹介～

日	時	2011年12月5日(月) 13:30～16:30
会	場	幕張メッセ 3F 303会議室
主	催	再生可能エネルギー協議会(第10分科会)
協	催	(財)電力中央研究所、(財)エネルギー総合工学研究所
協	力	財団法人高橋産業経済研究財団

**プログラム**

総合司会：分科会10リーダー 浅野 浩志、 コリーダー 徳田 憲昭、村田 晃伸	
13:30～14:10	エネルギーシステムインテグレーション～変わることに変わらぬこと～ 東京大学 生産技術研究所 荻本 和彦(特任教授)
14:10～14:50	スマートグリッドの実証と展望 早稲田大学 理工学術院 林 泰弘(教授)
14:50～15:20	英国における洋上風力発電所の出力変動対策 James Beal, Advisor to the UK Trade and Investment (UK Government Agency)
15:20～15:30	休憩
15:30～16:00	スマートコミュニティ実現に向けた日産自動車の取り組みについて 日産自動車株式会社 企画・先行技術開発本部 技術企画部 主管 近藤 晴彦
16:00～16:30	EV・PHV(Plug-in Hybrid Vehicle)のスマート充電 財団法人電力中央研究所 先進機能材料領域 池谷 知彦(リーダー)

**RE [2] JCREフォーラム：「風力エネルギー」セミナー**

陸上から洋上まで、風力発電の新しい発展に向けた今後を展望する

日	時	2011年12月5日(月) 13:00～17:10
会	場	幕張メッセ 3F 304会議室
主	催	再生可能エネルギー協議会(第5分科会)
共	催	(社)日本風力発電協会、(社)日本風力エネルギー学会、 小形風力発電協会
協	力	財団法人高橋産業経済研究財団

**プログラム**

総合司会：JCRE第5分科会リーダー 前田 太佳夫(三重大学)、 コリーダー 今村 博(WEIT)	
13:00～14:20	基調講演
13:00	再生可能エネルギー買取法を含めた我が国のエネルギー政策 経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー対策課長 村上 敬亮
13:20	風力発電事業の展開とその展望 日本風力発電協会 会長 永田 哲朗(ユーラスエナジー)
13:40	将来を見据えた風力発電、研究と技術開発 日本風力エネルギー学会 副会長 石原 孟(東京大学)
14:00	風力発電、海外からの最新情報～浮体式洋上風力発電実証 ノルウェー Dr.Per Christer Lund
14:20～15:35	風力発電普及への取組、国内企業からの発信
14:20	三菱重工業株式会社 上田 悦紀(風力発電部門 主席技師)
14:35	株式会社日立エンジニアリング・アンド・サービス 鈴木 和夫(新エネルギー本部長)
14:50	ガラードハッサンジャパン株式会社 内田 行宣(代表取締役)
15:05	ウインドパワーいばらぎ株式会社 小松崎 衛(代表取締役社長)
15:20	ニッコー株式会社 高田 康宏(執行役員住設環境機器事業部)
15:35～15:50	海外企業からの情報
15:35	ヴェスタス、日本での取組みと展開 Luke Eginton (Managing Director Japan)
15:50～16:00	休憩
16:00～17:00	パネル討論会「短期、中期を見据えた我が国の風力発電の姿を描く」 モデレーター 荒川 忠一(風力連絡協議会代表、東京大学) パネラー 行政官庁、永田 哲朗、石原 孟、上田 悦紀、鈴木 和夫、内田 行宣、小松崎 衛、高田 康宏
17:00～17:10	新しい日本風力エネルギー学会の紹介と閉会挨拶 日本風力エネルギー学会 会長 勝呂 幸男

**RE [3] JCREフォーラム：「省エネ建築」最先端 セミナー：NETゼロ住宅からエネルギー自立住宅へ**

住宅における自然エネルギー利用とスマートグリッド

日	時	2011年12月5日(月) 13:30～16:30
会	場	幕張メッセ 1F 103会議室
主	催	再生可能エネルギー協議会(第4分科会)
共	催	一般社団法人日本太陽エネルギー学会 ソーラー建築部会
協	力	財団法人高橋産業経済研究財団

**プログラム**

総合司会：太細 博利(昭和三社)	
13:30～13:40	主旨説明 日本太陽エネルギー学会 会長 宇田川 光弘(工学院大学)
講演	
13:40～14:10	1)住宅メーカーのソーラー建築最先端技術 太田 勇(ミサワホーム総合研究所) ～ネットCO <sub>2</sub> ゼロからライフサイクルCO <sub>2</sub> ゼロへ～
14:10～14:40	2)地域に適合したソーラー建築技術 岡本 康男(チリウヒーター) ～地産地消の観点、その地域の環境に即した家づくり～
14:40～15:10	3)快適・省エネルギー住宅の住まい方と設計 山田 貴宏(バイオフィルム環境デザイン室) ～里山長屋暮らしプロジェクトを中心に～
15:10～15:40	4)環境まちづくりへの展開 桂木 宏昌(日本設計) ～ゼロエネルギープロジェクトの紹介～
15:40～15:50	休憩
15:50～16:40	パネル討論会 司会 須永 修通(首都大学東京) パネリスト 太田 勇、岡本 康男、山田 貴宏、桂木 宏昌、 石川 修(資源総合システム)、 大野 二郎(日本設計)、 蒲谷 昌生(ソーラーシステム研究所)、 嵐 悠佑(OMソーラー)
16:40～16:50	まとめ 浅井 俊二(矢崎総業)

**RE [4] JCREフォーラム：「地熱・地中熱利用」最先端セミナー**

活かせ大地のエネルギー、地熱・地中熱

日	時	2011年12月5日(月) 13:30～17:00
会	場	幕張メッセ 1F 104会議室
主	催	再生可能エネルギー協議会(第9分科会)
共	催	日本地熱学会、地中熱利用促進協会、 産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門
協	力	財団法人高橋産業経済研究財団

**プログラム**

13:30～13:35	地熱・地中熱最先端セミナー開催趣旨 JCRE地熱・地中熱分科会リーダー 矢野 雄策
13:35～14:00	地熱エネルギー資源の開発と利用に向けて 日本地熱学会 会長 松永 烈
14:00～14:30	山葵沢・秋ノ宮地熱の開発状況について 湯沢地熱(株) 中西 繁隆
14:30～15:15	ニュージーランドの地熱エネルギー(地熱エネルギーの活用・ 地域共生の概要とオークランド大学地球科学工学研究所の紹介) ニュージーランド・オークランド大学 Peter Malin 教授
15:15～15:30	休憩
15:30～16:00	地中熱利用の現状と課題 地中熱利用促進協会 理事長 笹田 政克
16:00～16:30	緑の分権改革での地中熱の取り組み 地中熱利用促進協会 副理事長 高杉 真司
16:30～17:00	地下水・温泉排湯利用ヒートポンプシステム ゼネラルヒートポンプ工業(株) 柴 芳郎

## 12月6日(火)

### RE [5] NEDOセッション

日時 2011年12月6日(火) 10:30~15:30  
会場 幕張メッセ 2F コンベンションホールB  
主催 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

#### プログラム

10:30~10:35	開会挨拶 理事 和坂 貞雄
10:35~11:05	再生可能エネルギーの固定価格買取制度について 経産省 資源エネルギー庁 新エネルギー対策課
11:05~11:20	NEDOにおける新エネルギー分野の取り組み 部長 和泉 章
11:20~11:50	太陽光発電技術開発の最新動向 —太陽光発電の低コスト化、高効率化に向けたNEDOの取り組み— 主任研究員 山本 将道
11:50~12:20	風力発電技術開発の最新動向 —本格的な洋上風力発電の導入に向けたNEDOの取り組み— 主任研究員 伊藤 正治
12:20~13:20	休憩
13:20~13:50	バイオマス分野技術開発の最新動向 —バイオ燃料本格導入/次世代のバイオ燃料製造に向けたNEDOの取り組み— 統括主幹 徳岡 麻比古
13:50~14:20	燃料電池・水素技術開発の最新動向 —燃料電池・水素供給インフラ導入に向けたNEDOの取り組み— 主任研究員 細井 敬
14:20~14:50	蓄電池技術開発の最新動向 —スマートコミュニティにおける蓄電池の役割と 次世代自動車の本格普及に向けたNEDOの取り組み— 職員 佐藤 丈
14:50~15:20	スマートコミュニティ関連の最新動向 —スマートコミュニティ実現に向けたNEDOの取り組み— 主幹 林 成和
15:20~15:25	閉会挨拶

### RE [6] JCREフォーラム: 「政策・統合概念」再生可能エネルギーの 出力変動予測に関する最先端技術

再生可能エネルギーの大量導入に備えた予測技術,  
エネルギー分野と気象分野の融合!!

日時 2011年12月6日(火) 09:50~17:30  
会場 幕張メッセ 3F 304会議室  
主催 再生可能エネルギー協議会(第1分科会)、東京大学  
協力 財団法人高橋産業経済研究財団

#### プログラム

09:50~10:00	開会あいさつ 東京大学 荻本 和彦
10:00~10:30	低炭素社会と電力系統 北陸電力 駒見 慎太郎
10:30~11:00	気象技術のエネルギー予測への応用 気象庁気象研究所 山田 芳則
11:00~11:25	風力発電の発電出力予測の現状と課題 電力中央研究所 平口 博丸
11:25~11:50	太陽光発電の発電量予測の現状と課題 産業技術総合研究所 大関 崇
11:50~12:45	休憩
12:45~13:10	太陽と風力エネルギー予測技術の実用化への課題(1) 一般財団法人 日本気象協会 小玉 亮
13:10~13:35	太陽と風力エネルギー予測技術の実用化への課題(2) 伊藤忠CTC 高木 哲郎
13:35~13:55	電力中央研究所における風力、太陽エネルギー予測技術 電力中央研究所 橋本 篤
13:55~14:15	気象学におけるガイダンス手法 気象庁予報部 松下 泰広
14:15~14:35	SVMを用いた日射量/太陽光発電予測におけるガイダンス技術の研究 産業技術総合研究所 Joao Fonseca
14:35~14:55	JITモデルを用いた広域の太陽光発電予測技術に関する研究 早稲田大学 若尾 真治
14:55~15:15	衛星画像からの日射量推定技術 千葉大学 竹中 栄晶
15:15~15:35	休憩
15:35~15:55	風力発電における変動のならし効果 一般社団法人 日本風力発電協会 齊藤 哲夫
15:55~16:15	太陽光発電システムにおける出力変動に関して 中部電力 和澤 良彦
16:15~16:35	太陽光発電システムのならし効果に関するモデリングおよび分析評価技術 名古屋大学 加藤 丈佳
16:35~16:55	太陽光発電システムの計画発電における必要な予測仕様と誤差範囲 北海道大学 原 亮一
16:55~17:15	再生可能エネルギーの出力予測精度が与える系統運用へのインパクト 東京大学 池田 裕一
17:15~17:30	閉会あいさつ 東京大学 荻本 和彦

**RE [7] JCREフォーラム：「バイオマス利用」普及促進セミナー**

～バイオマスアジアと国際展開を通じてバイオマスの普及促進をはかる～

日 時 2011年12月6日(火) 13:00～16:30  
 会 場 幕張メッセ 1F 101AB会議室  
 主 催 再生可能エネルギー協議会(第6分科会)  
 協 力 カナダ大使館、広島大学バイオマスプロジェクト研究センター  
 協 力 財団法人高橋産業経済研究財団

**プログラム**

総合司会：分科会6 リーダー坂西欣也(AIST)、  
 コーリーダー松村 幸彦(広島大学)

**基調講演**

13:00～13:40 「パームオイル産業のゼロディスチャージと生物多様性保全  
 ～パームバイオマス活用による両者の共存共栄～」  
 九州工業大学 教授 白井 義人

**海外からのバイオマス展開情報**

13:40～14:10 韓国におけるバイオエネルギーの現状と展開  
 Dr. Lee Jin-Suk, KIER

14:10～14:40 カナダでのバイオエネルギーの産業と投資への機会  
 The Canadian Bioenergy Industry and Investment Opportunities  
 Denis Connor  
 Global Practice Lead  
 Clean Technology - Renewable Energy  
 Department of Foreign Affairs and International Trade

14:40～15:00 休憩

**我が国のバイオマス施策とアジア展開**

15:00～15:30 「我が国のアジアへ向けたバイオマス研究活動の促進について」  
 (財)新エネルギー財団 計画本部国際協力部 課長 水尾 徹

15:30～16:00 「東アジアにおけるバイオマスタウン構想普及の取り組みと地  
 域でのバイオマスエネルギー利用の事例」  
 株式会社三菱総合研究所 環境エネルギー研究本部 研究員 上條 善康

**RE [8] JCREフォーラム：「水素・燃料電池」～燃料電池実用化最先端 セミナー**

本格的な普及開始が始まりつつある燃料電池を紹介！

日 時 2011年12月6日(火) 10:00～12:20  
 会 場 幕張メッセ 1F 103会議室  
 主 催 再生可能エネルギー協議会(第7分科会)  
 協 力 燃料電池実用化推進協議会  
 協 力 財団法人高橋産業経済研究財団

**プログラム**

総合司会：分科会7リーダー秋葉 悦男(九州大学)、  
 里見 知英(燃料電池実用化推進協議会)

10:00～10:20 我が国における燃料電池・水素の取組み～燃料電池自動車と定  
 置用燃料電池の普及に向けた取組み  
 経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー新エネルギー部  
 新エネルギー対策課 燃料電池推進室 課長補佐 縄田 俊之

10:20～10:50 エネファームの普及拡大に向けた商品機開発  
 東芝燃料電池システム株式会社 技師長 永田 裕二

10:50～11:20 家庭用燃料電池エネファームの住宅へ導入状況と今後の市場展望  
 東京ガス株式会社 燃料電池事業推進部 岡村 潔  
 (燃料電池企画グループマネージャー兼燃料電池技術グループマネージャー)

11:20～11:50 2015年普及開始に向けた燃料電池自動車開発状況  
 トヨタ自動車株式会社 FC開発部 担当部長 大仲 英巳

11:50～12:20 2015年燃料電池自動車普及開始に向けた水素インフラの取組み  
 水素供給・利用技術研究組合 技術本部長 北中 正宣

**RE [9] JCREフォーラム：「太陽熱利用」「日本型エネルギーネットワーク」の技術最前線**

～熱と電気を融合させたグリーンエネルギーネットワークを考える～

日 時 2011年12月6日(火) 13:30～17:00  
 会 場 幕張メッセ 1F 103会議室  
 主 催 再生可能エネルギー協議会(第3分科会)  
 共 催 一般社団法人日本太陽エネルギー学会  
 協 力 財団法人高橋産業経済研究財団  
 後 援 東京工業大学ソリューション研究機構 A E Sセンター

**プログラム**

司会進行：秋澤 淳  
 (東京農工大学 教授、JCRE分科会3リーダー)  
 田中 耕太郎  
 (芝浦工業大学 教授、JCRE分科会3 コーリーダー)

**基調講演**

13:30～14:00 再生可能エネルギーによる災害に強い低炭素社会の実現  
 神本 正行(弘前大学 教授、北日本新エネルギー研究所 所長)

14:00～14:30 日本型エネルギーネットワークと太陽熱利用  
 秋澤 淳(東京農工大学 教授、JCRE分科会3 リーダー)

**開発事例や実施事例の紹介**

14:30～14:55 1. ソーラー熱エネルギー利用の最近の事例紹介  
 時岡 義雄(一般社団法人ソーラーシステム振興協会 技術部長)

14:55～15:20 2. 熱電併給、燃料電池の導入展開とグリッドも含めたエネ  
 ルギー管理 (仮題)  
 山口 益弘(J X日鉄日石エネルギー株式会社  
 執行役員システムインテグレート推進事業部長)

15:20～15:35 休憩

15:35～16:00 3. 千住スマートエネルギーネットワーク実証事業  
 菱沼 祐一(東京ガス株式会社 ソリューション技術部長)

16:00～16:25 4. 六本木 森ビルに見る災害に強いエネルギーシステムの構築  
 多田 雄三(六本木エネルギーサービス株式会社 社長)

16:25～16:50 5. 横浜市が取り組むグリーンエネルギーネットワーク  
 プロジェクトの紹介

中島 徹也(横浜市温暖化対策統括本部 副本部長)

16:50～17:00 質疑応答と閉会挨拶  
 秋澤 淳

**RE [10] JCREフォーラム：「中小水力・未利用エネルギー活用」セミナー**

～水力エネルギーの有用性・魅力を紹介～

日 時 2011年12月6日(火) 13:00～16:30  
 会 場 幕張メッセ 1F 104会議室  
 主 催 再生可能エネルギー協議会(第12分科会)  
 共催・協賛 ターボ機械協会  
 協 力 財団法人高橋産業経済研究財団

**プログラム**

13:00～13:45 特別講演「日本の風土・文化に調和する水力エネルギー」  
 東京電力株式会社 電力流通本部 工務部水力発電技術担当兼  
 建設部 電源担当 稲垣 守人

13:45～14:15 水力発電の概要と状況  
 財団法人新エネルギー財団 水力本部調査部調査第1課 課長 大島 寿哉

14:15～14:45 マイクロ・ナノ・ピコ水力発電の普及と社会的課題  
 東京発電株式会社 水力事業部マイクロ水力技術グループ 大池 真悟

14:45～15:00 休憩

15:00～15:30 環境にやさしい小型水力発電機の開発  
 信州大学 環境機能工学科 准教授 飯尾 昭一郎、教授 池田 敏彦

15:30～16:00 マイクロ水力発電の技術開発  
 湘南工科大学 工学部 教授 北洞 貴也

16:00～16:30 小水力発電装置(リング水車)の導入計画について  
 川崎重工株式会社 プラント・環境カンパニー プロジェクト  
 開発総括部 神代 初義



12月7日(水)

RE [11] AISTセッション

再生可能エネルギーへの期待と展望

日 時 2011年12月07日(水) 10:30~16:15  
 会 場 幕張メッセ 2F コンベンションホールB  
 主 催 (独)産業技術総合研究所

プログラム

- 10:30~10:40 開会の挨拶
- 10:40~11:15 **「再生可能エネルギーの役割と展望」**  
環境・エネルギー分野 副研究統括 大和田野 芳郎
- 11:15~12:00 **「福島原子力発電所事故からみた太陽光発電への期待」**  
豊田工業大学 大学院工学研究科 教授 山口 真史
- 12:00~13:00 休憩
- 13:00~13:45 **「蓄電デバイスの開発と標準化」**  
ユビキタスエネルギー研究部門 蓄電デバイス研究グループ  
研究グループ長 小林 弘典
- 13:45~14:30 **「分散型エネルギーマネジメント」**  
エネルギー技術研究部門 エネルギーネットワークグループ  
研究グループ長 安芸 裕久
- 14:30~14:40 休憩
- 14:40~15:25 **「バイオマスエネルギーの最新動向と産総研の取り組み」**  
バイオマス研究センター 副研究センター長 平田 悟史
- 15:25~16:10 **「地熱発電と地中熱利用の現状、可能性と研究課題」**  
地圏資源環境研究部門 研究部門長 矢野 雄策
- 16:10~16:15 閉会の挨拶

RE [12] JCREフォーラム：  
「海洋エネルギー」セミナー

新しいステージに向かう海洋エネルギー資源利用

日 時 2011年12月7日(水) 10:00~17:00  
 会 場 幕張メッセ 3F 303会議室  
 主 催 再生可能エネルギー協議会(第8分科会)、  
海洋エネルギー資源利用推進機構  
 協 力 財団法人高橋産業経済研究財団

プログラム

- 10:00~10:10 **開会挨拶**  
海洋エネルギー資源利用推進機構(OEJ)会長  
(東京大学生産技術研究所) 木下 健
- 10:10~12:10 海洋エネルギー資源の現状と新しい展開(OEJ分科会報告)
- 10:10 洋上風力分科会 分科副会長 高木 健(東京大学)
- 10:30 波力分科会 分科会長 永田 修一(佐賀大学)
- 10:50 海流・潮流・潮汐分科会 分科会長 経塚 雄策(九州大学)
- 11:10 海洋温度差分科会 分科会長 池上 康之(佐賀大学)
- 11:30 マリンバイオ分科会 分科会長 岡田 茂(東京大学)
- 11:50 海洋鉱物資源分科会 分科会長 山崎 哲生(大阪府立大学)
- 12:10~13:00 休憩
- 13:00~14:30 基調講演
- 13:00 **我が国の海洋再生可能エネルギーの現状と展望**  
経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部  
新エネルギー対策課長 村上 敬亮
- 13:30 **World-wide Status of Ocean Energy Development and  
Relevant Canadian Expertise**  
Gouri S. Bhuyan (Principal Advisor on Alternative Energy,  
Powertech Labs and a Former Chairman IEA Ocean Energy  
Systems)
- 14:00 **Power Buoy Project (tentative)**  
To be named (Ocean Power Technologies, UK)
- 14:30~15:30 特別セッション1
- 14:30 **日本の海洋再生可能エネルギー実証サイトを目指して**  
内閣府 総合海洋政策本部事務局 内閣参事官 神門 正雄
- 14:50 **我が国の海洋再生可能エネルギーのポテンシャル**  
みずほ情報総研株式会社 山田 博資
- 15:10 **海洋エネルギー東北再生イニシアティブ**  
OEJビジネス協議会代表幹事(三井造船株式会社) 黒崎 明
- 15:30~15:40 休憩
- 15:40~16:20 特別セッション2
- 15:40 **東北再生と洋上風力発電**  
東京大学 教授 荒川 忠一
- 16:00 **岩手県における海洋再生可能エネルギー実証サイトの取組みについて**  
岩手県 商工労働観光部科学・ものづくり振興課
- 16:20~17:00 総合討論
- 16:20
- 17:00 **閉会挨拶**  
海洋エネルギー資源利用推進機構 副会長 荒川忠一(東京大学)

RE [13]

## JCREフォーラム： 「ヒートポンプ・熱エネルギー活用」セミナー

身近なエネルギーシステムと省エネルギー、  
そして最新のヒートポンプ技術を説明

日 時 2011年12月7日(水) 13:00~17:00  
会 場 幕張メッセ 3F 304会議室  
主 催 再生可能エネルギー協議会(第11分科会)  
共催・協賛 慶応義塾大学  
協 力 財団法人高橋産業経済研究財団

### プログラム

総合司会：JCRE第11分科会リーダー 佐藤 春樹(慶応大学)、  
コリーダー奥宮 正哉(名古屋大学)

- 13:00~13:05 ご挨拶
- 13:05~13:45 東日本大震災から見えてきた地球環境問題・災害のつながりと  
今後のエネルギーシステム  
横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 佐土原 聡
- 13:45~14:25 我が国の省エネルギー対策について  
NEDO省エネルギー部 部長 佐藤 嘉晃
- 14:25~15:05 英国における再生可能エネルギー導入状況  
Mr. James Beal, Advisor to the UK Trade and Investment
- 15:05~15:20 休憩
- 15:20~15:50 蒸気発生・給湯用ヒートポンプの開発状況  
株式会社前川製作所 技術研究所 副所長 町田 明登
- 15:50~16:20 個別分散冷暖房ヒートポンプの現状  
ダイキン工業株式会社 空調営業本部  
カスタマーサポートセンター 室長 三品 孝
- 16:20~16:50 超低炭素化ビルへのヒートポンプ採用事例  
株式会社大林組 設計本部 設備設計部 課長 伊藤 剛
- 16:50~17:00 総括  
東海大学名誉教授 田中 俊六

# 併催イベント

## 特別企画

「東京スカイツリータウンにおける再生可能エネルギー利用と省CO<sub>2</sub>まちづくり」

協賛企業：東武鉄道株式会社／東武タワースカイツリー株式会社／株式会社東武エネルギーマネジメント／東武タウンソラマチ株式会社

## A：出展者ワークショップ

発表時間	12月5日(月)	
13:00~13:45	一般社団法人日本熱供給事業協会 「地域冷暖房特別セミナー」 問い合わせ先：03-3592-0852	
14:00~14:45	南アフリカ共和国通産省／在日南アフリカ大使館 「南アフリカ再生可能エネルギー分野における投資チャンスのご紹介」	
15:00~15:45	エスケー・テック(株) 「SKモーター発電機を利用した小型風力発電・小型水力発電システムについて」 問い合わせ先：03-6300-0104	
発表時間	12月6日(火)	
11:00~11:45	チュニジア共和国大使館 「チュニジアソーラープランのご紹介」	
13:00~13:45	日本工営(株) 「小規模水力発電への取組み」 問い合わせ先：03-5215-6934	
14:00~16:00	「学生による再生可能エネルギー・省エネルギー研究紹介」	
発表時間	12月7日(水)	
10:55~13:45	アカデミックギャラリー研究成果プレゼンテーション	
14:00~14:45	(株)環境新聞社 「太陽光発電ビジネスを勝ち抜く秘訣!」 問い合わせ先：03-3359-5349	
15:00~15:45	アンシス・ジャパン(株) 「再生可能エネルギープラントを対象とした解析テクノロジーの活用事例の紹介」 問い合わせ先：03-5324-7306	

## B：アカデミックギャラリー

大学研究室等が最新の再生可能エネルギー技術・情報を公開し、産学連携推進を支援しました。

研究成果プレゼンテーション

発表時間	12月5日(月)	
10:55~11:15	九州大学大学院工学研究院地球熱システム学研究室 「多様な地熱エネルギーの利用を目指して」	発表者：岡 大輔
11:25~11:45	日本地熱学会 「地熱ルネサンス：安定的再生可能エネルギー」	発表者：土屋 範芳
11:55~12:15	千葉大学 大学院 工学研究科 建築・都市科学専攻 小倉研究室 「無機系ケミカルヒートポンプによるエネルギーリサイクルシステム」	発表者：小倉 裕直
12:25~12:45	永田 龍彦(日本風力エネルギー協会個人会員) 「自己安定型垂直軸風車及び浮体式洋上風力発電の提案」	発表者：永田 龍彦
12:55~13:15	都市型新エネルギー研究会 「屋内直流給電システム」	発表者：(有)石川光学造形研究所 石川 洵
13:25~13:45	東京電機大学 工学部 電気電子工学科 ドライブシステム研究室 「ウインドファームに最適な直列方式多数台風力発電システム」	発表者：西方 正司



## C: 再生可能エネルギー・環境政策コーナー

日本の新エネルギー産業の普及拡大のため、日本政府がどのような戦略・構想を掲げているのかをご紹介します。

また、地域の取り組み紹介や情報提供、新エネルギーに関するプロジェクト実現のための相談も承りました。

特別協力：地域エネルギー・温暖化対策推進会議、  
経済産業省関東経済産業局、環境省関東地方環境事務所

## D: 学生による再生可能エネルギー・省エネルギー研究紹介

再生可能エネルギーあるいは省エネルギーに関わる研究を行っている、高等専門学校、短期大学、大学、大学院等の学生によるポスター展示および発表会を行いました。

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会

発表時間	12月6日(火) ワークショップ会場	
14:00~14:03		ご挨拶 佐藤春樹 日本太陽エネルギー学会副会長
14:03~14:06	1	雪田和人研究室@愛知工業大学電気学科
14:06~14:09	2	雪田和人研究室@愛知工業大学電気学科
14:09~14:12	3	雪田和人研究室@愛知工業大学電気学科
14:12~14:15	4	雪田和人研究室@愛知工業大学電気学科
14:15~14:18	5	文倉弘貴君(修1) 荒川裕則研究室@東京理科大学大学院
14:18~14:21	6	大島典彦君(修1) 荒川裕則研究室@東京理科大学大学院
14:21~14:24	7	武藤弘志君(4年) 松本俊郎研究室@近畿大学生物理工学部知能システム工学科
14:24~14:27	8	平柳 奏君(修2) 宇田川光弘研究室@工学院大学大学院建築学専攻
14:27~14:30	9	的場靖代君(修2) 宇田川光弘研究室@工学院大学大学院建築学専攻
14:30~14:33	10	楠 崇史君 宇田川光弘研究室@工学院大学大学院建築学専攻
14:33~14:36	11	長井 浩研究室@日本大学生産工学部環境安全工学科
14:36~14:39	12	長井 浩研究室@日本大学生産工学部環境安全工学科
14:39~14:42	13	長井 浩研究室@日本大学生産工学部環境安全工学科
15:00~15:03	14	須永修通研究室@首都大学東京都市環境科学研究科建築学域
15:03~15:06	15	須永修通研究室@首都大学東京都市環境科学研究科建築学域
15:06~15:09	16	陳 明 君(博3) 牛山泉・根本泰行研究室@足利工業大学
15:09~15:12	17	尾羽秀晃君(博2) 岡島敬一研究室@筑波大学大学院リスク工学専攻
15:12~15:15	18	長谷川渉君(修1) 岡島敬一研究室@筑波大学大学院リスク工学専攻
15:15~15:18	19	関口大介君(4年) 岡島敬一研究室@筑波大学
15:18~15:21	20	Mr. MAIR Muhammd(D1) 秋澤 淳研究室@東京農工大学大学院共生科学技術研究院
15:21~15:24	21	竹下紀之君(4年) 秋澤 淳研究室@東京農工大学大学院共生科学技術研究院
15:24~15:27	22	河野 翔君(修1) 秋澤 淳研究室@東京農工大学大学院共生科学技術研究院
15:27~15:30	23	吉田篤正研究室@大阪府立大学機械系機械工学分野
15:30~15:33	24	HUYNH Thi Minh Thu(D3) 佐藤春樹研究室@慶應義塾大学開放環境科学専攻
15:36~15:39	25	福島隆弘君(修2) 佐藤春樹研究室@慶應義塾大学開放環境科学専攻
15:39~15:42		ご挨拶 佐藤春樹 日本太陽エネルギー学会副会長

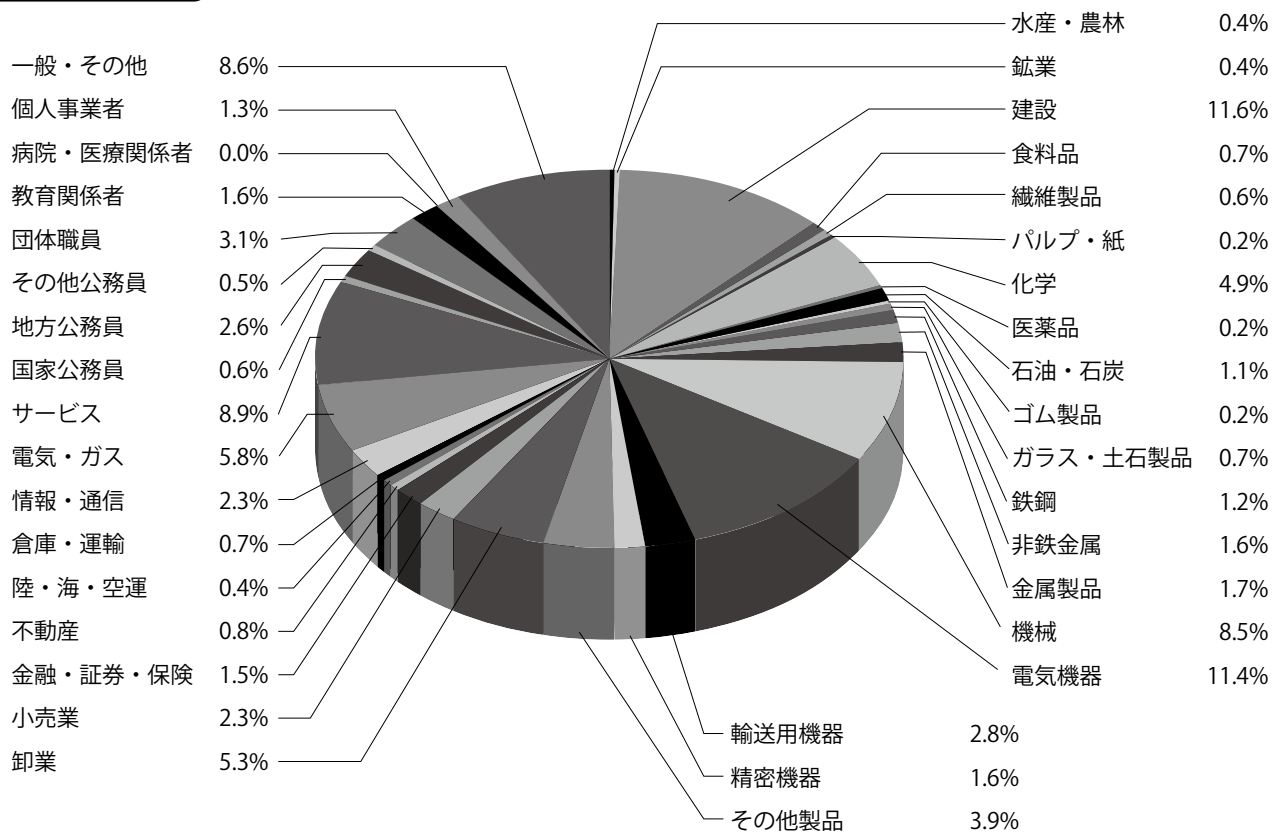
## E : Productivity Conference - モービル 風力発電用潤滑油セミナー

主 催：エクソンモービル有限会社

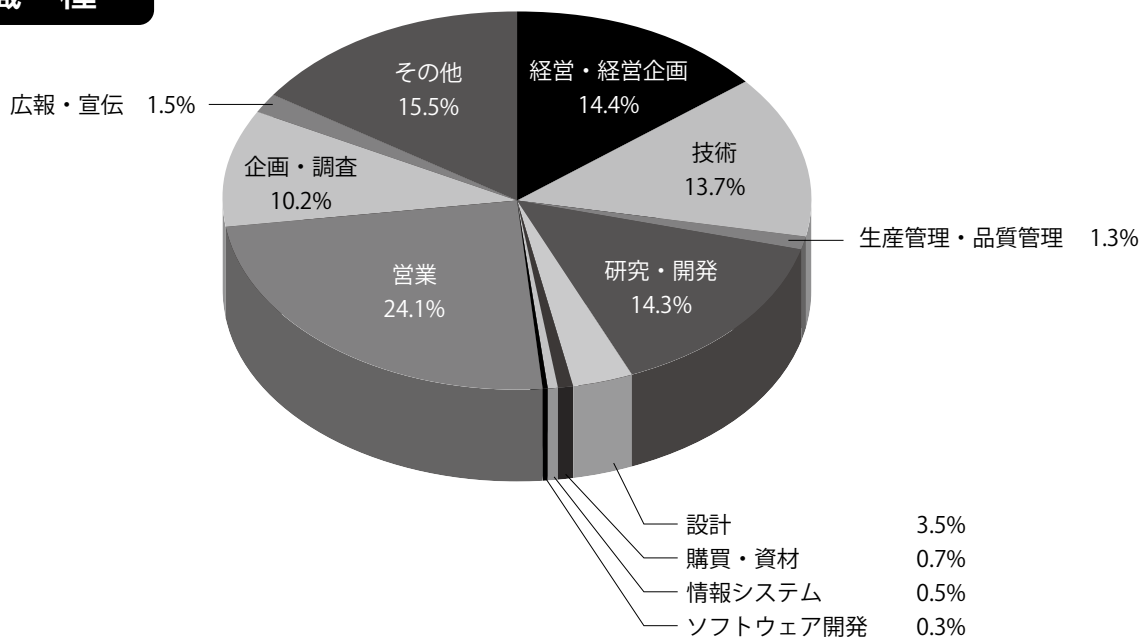
発表時間	12月5日 (月)
13:00-13:45	「風力発電マーケット概要」 発表者：南 勇司 (工業用潤滑油 副部長)
13:45-14:30	「風力発電用潤滑油・グリース製品のご紹介」 発表者：上野 真一 (グローバルEBエンジニア)
14:30 - 14:45	休憩
14:45-15:30	「風力発電用潤滑油・グリースの交換と実例」 発表者：岡田孝利 (工業用潤滑油 ビジネス開発部長)
15:30-15:50	「風力発電における潤滑管理」 発表者：高橋 裕志 (潤滑油エンジニアリングサポート・シニアルブエンジニア)
15:50-16:00	Q&A

# 来場者分析 (登録証集計)

## 職業

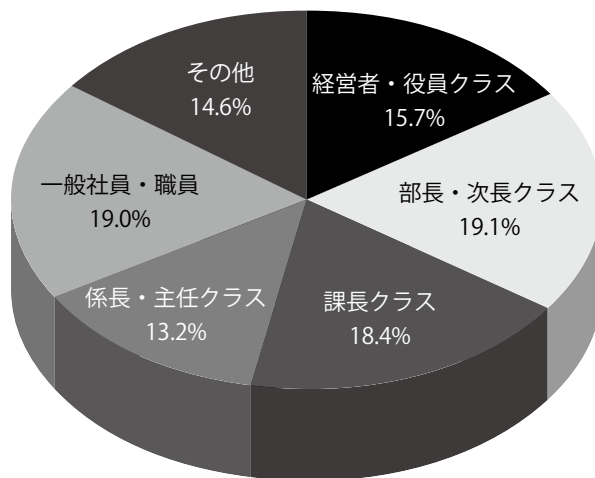


## 職種

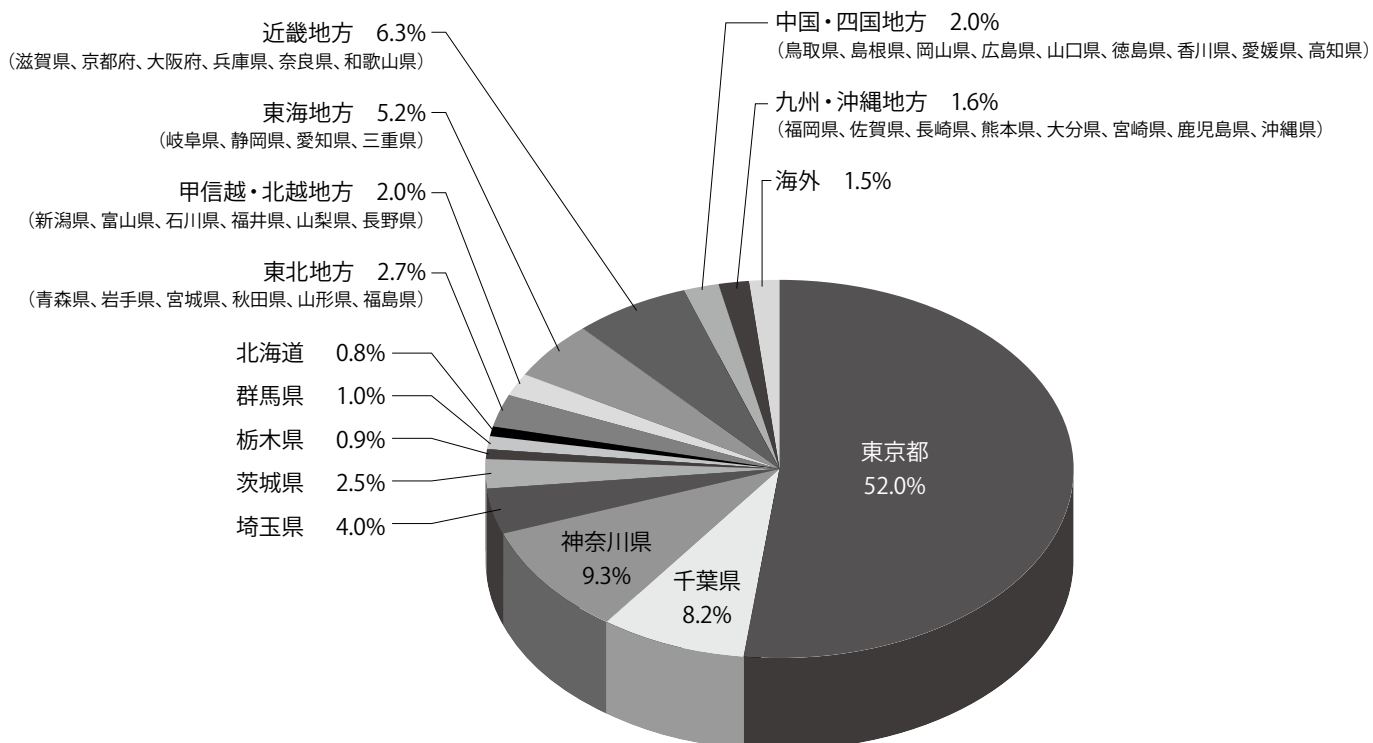




## 役職

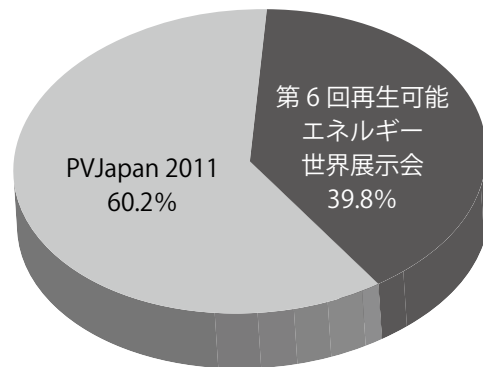


## 都道府県

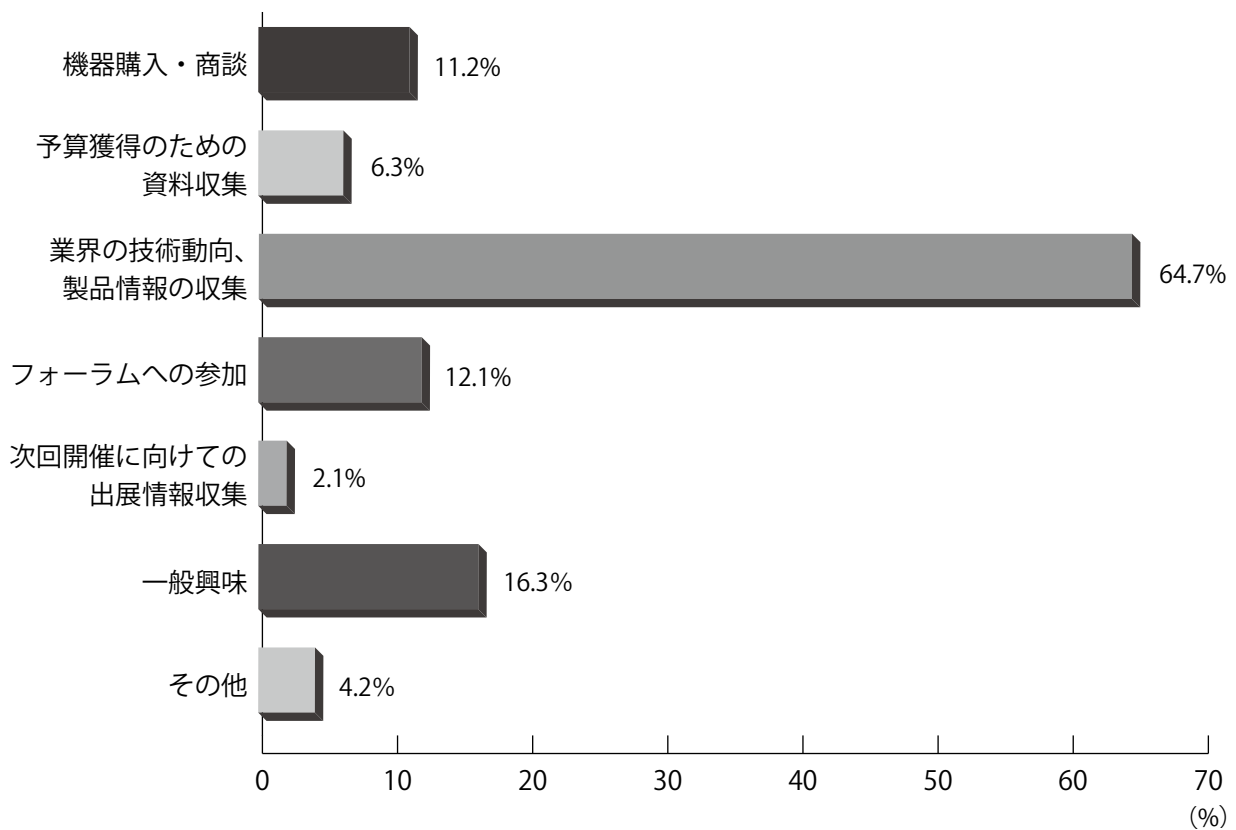


# 来場者アンケート (回答数 331 件) ※記述回答例は原文ママ

## 1 どちらで入場しましたか？

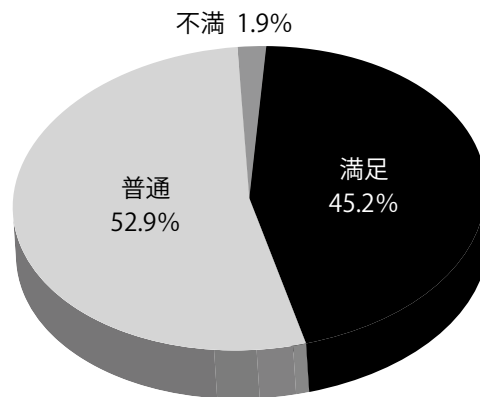


## 2 来場の動機・目的は？ (複数回答)



その他記述	▶ 公共団体	▶ 環境に興味あり
	▶ 情報収集	▶ 動向(市場、技術、企業)

### 3 目的の達成度は？



#### 回答の理由（一部抜粋）

##### 〈満足〉

- ▶ 情報収集
- ▶ 環境に興味あり
- ▶ 動向（市場、技術、企業）
- ▶ 色々なメーカーのものが見られ参考になった
- ▶ ソーラパネルに関する最新技術を学べたため
- ▶ 環境問題や再生エネルギーの情報が拡散しており、何をどう切り口に情報収集すればよいかわからなかったので、来てよかったです
- ▶ 出展ブースの多さ
- ▶ この分野のいきおいを感じた
- ▶ 販売前の商品が見れた
- ▶ 多様性
- ▶ 情報が得られた
- ▶ 出展企業の数が多く情報収集しやすい
- ▶ 新製品が見られた
- ▶ 新しい技術を発見したため
- ▶ 最新のシステムが伺えた
- ▶ 出展数の多さ
- ▶ 新しい製品の展示
- ▶ 大変満足です。産学官どの展示も充実していると思います
- ▶ 初めてでしたので、新しい技術におどろきました
- ▶ 新しい情報を得られた

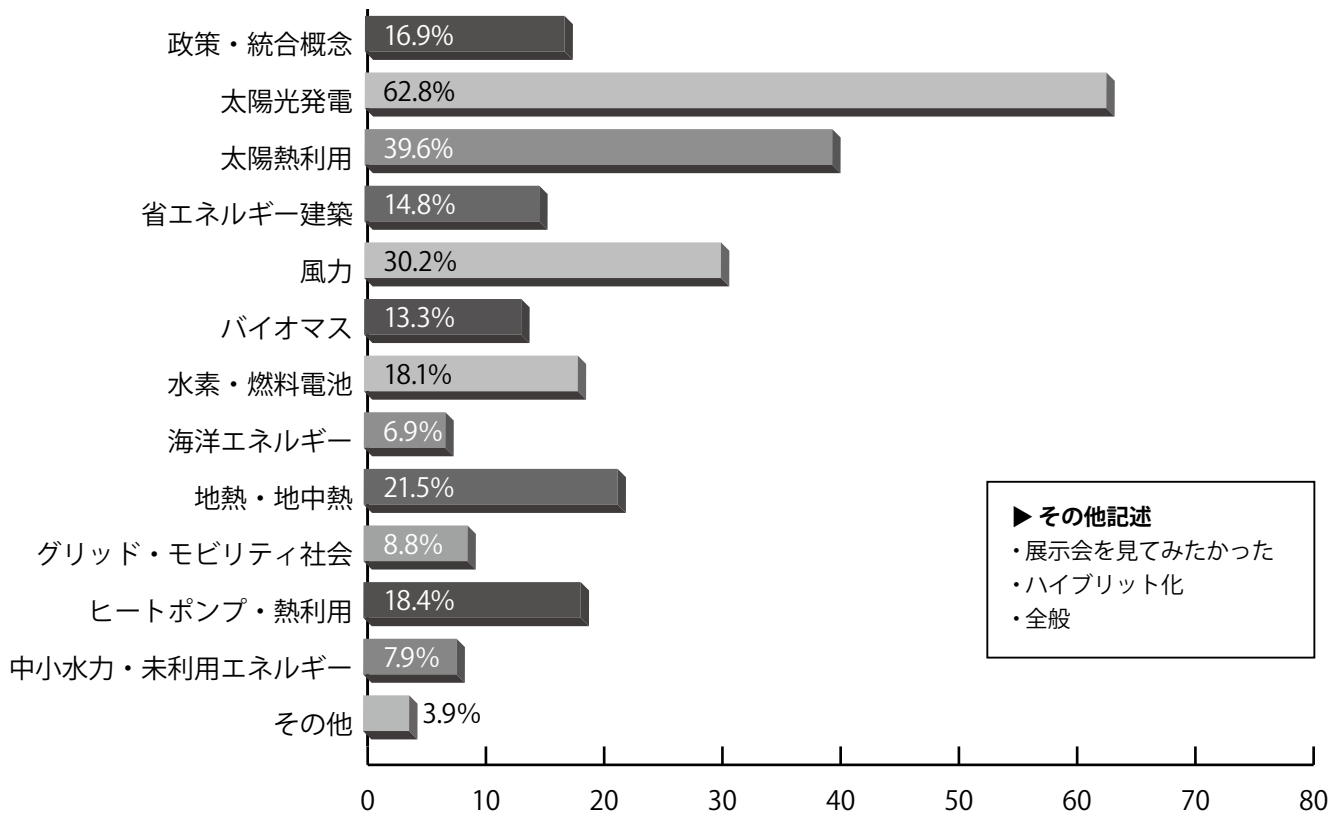
- ▶ 知らなかった事が再認識できたので
- ▶ 新製品等が見れた
- ▶ 企業ブース数が充足していた為
- ▶ 最新情報が得られた
- ▶ 希望のブースを見ることができた
- ▶ 新製品が多く見られた
- ▶ 色々な会社の人と出会えた
- ▶ 海外メーカーも情報収集できた
- ▶ 新しい製品が見れた
- ▶ 集中的に情報集収ができた
- ▶ 期待度が益々あふれてきた
- ▶ 太陽光ばかりではなく、地中熱についても大変勉強になった

##### 〈普通・不満〉

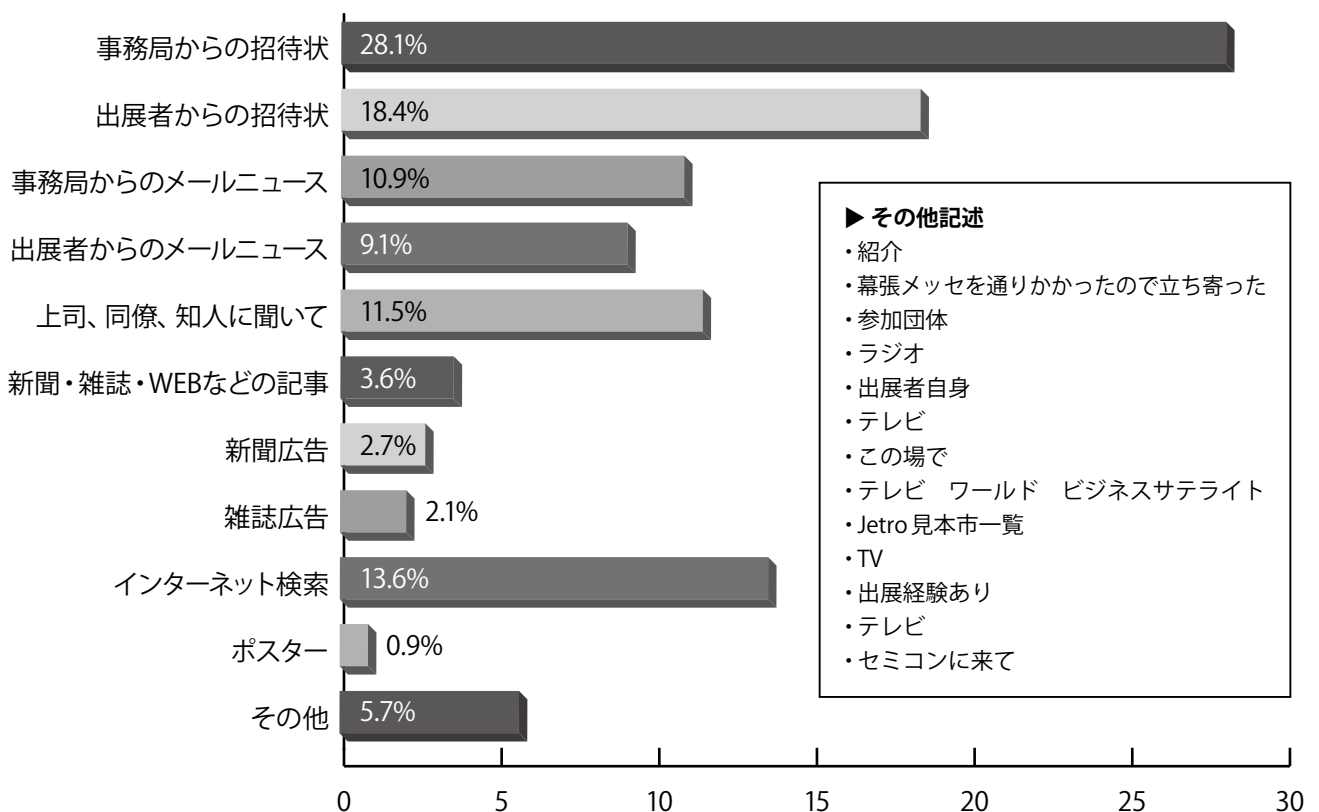
- ▶ 展示内容が偏っている、もっと広分野で
- ▶ 地中熱利用、中小風力に興味あるも、くわしいプロフィールデータ（設置者の利えき）がない
- ▶ 各メーカーがもっと特色を全面に出せたら、更に良いと思う
- ▶ 各企業の一通りの動向は確認しました
- ▶ 希望の展示品があまりない（小型装置）
- ▶ 思ったより出展社数が少なかった



#### 4 あなたが興味のある分野は？（複数回答可）

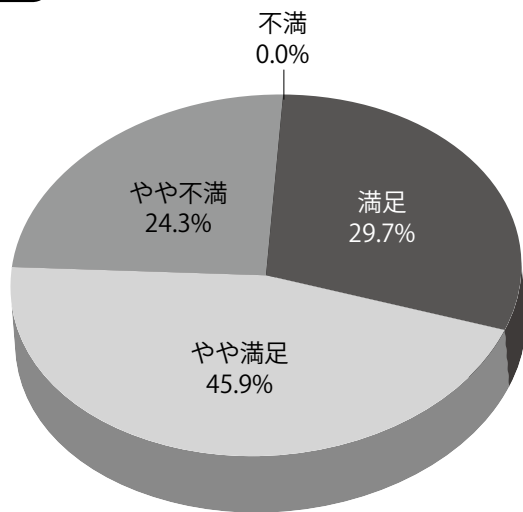


#### 5 本イベントを知ったきっかけは？



# 出展者アンケート ※記述回答例は原文ママ

## 1 「再生可能エネルギー世界展示会」の全般的な満足度はいかがでしたか？



### 〈満 足〉

- ▶ 想定以上の来場者があった
- ▶ 予想以上の来場者であったため
- ▶ 来場者数が多かった

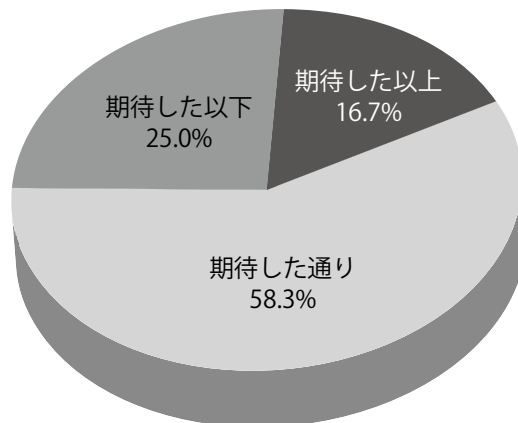
### 〈やや満足〉

- ▶ 新規のお客様とコンタクトをとれる機会が割と多た為
- ▶ 現在の当社の企業誘致活動にマッチしている
- ▶ 集客人はまずまず、再生可能エネルギーに特化した展示会で意義深い
- ▶ 場所→ビッグサイトにして欲しい

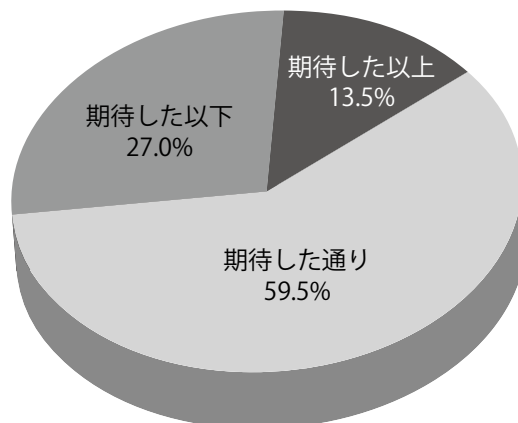
### 〈やや不満〉

- ▶ 会場の施設関係(飲食店等)不足
- ▶ ターゲット以外の来場者が多い
- ▶ もっとテーマを拡大した方がよい

## 2 来場者数はいかがでしたか？



## 3 貴社製品に対して有効な来場者はいかがでしたか？



## 4 どんな来場者層を期待していましたか？

- ▶ 経営者
- ▶ 再生可能エネルギーの利用、省エネ等にご興味をお持ちのエンドユーザー
- ▶ メーカーなどの技術者
- ▶ 環境／エネルギー関連の研究者(全般)
- ▶ 海洋開発関連の企業・研究機関・団体etc.  
洋上再生エネルギーの企業・研究機関・団体etc.
- ▶ 当施設に興味のある企業、興味を持つ可能性のある企業
- ▶ 大型風力発電関連企業(部品サプライヤー等)
- ▶ 自治体、発電事業者等
- ▶ 地場商社、工場導入ユーザー、エンジニアリング会社等設備導入を手がける担当者等
- ▶ 一般ユーザー・経営者
- ▶ 製品化あるいは共同研究を進めようとしている企業等
- ▶ 企業関係
- ▶ 再生可能エネルギー関連会社メンバー
- ▶ 地震の影響もあり、一般の方から、セミプロを想定
- ▶ 環境・エネルギー関連
- ▶ 温泉発電に興味のある来場者を希望しておりました
- ▶ 一般の方から企業まで
- ▶ 風力、太陽光発電装置及び周辺機器等設計・企画などされる方々
- ▶ 代理店希望者
- ▶ 製造業
- ▶ 設備設計、エネルギー関係事業者
- ▶ 風車メーカー(重工等)、造船社
- ▶ 日射量等、気象予測を必要とするメーカ、事業者
- ▶ 水力発電の開発に興味を持っている事業者
- ▶ 風力発電事業者、部品メーカー等取引先
- ▶ 地域熱供給事業に接する機会の少ない自治体・都市計画・建設関係者
- ▶ 海洋エネルギー関連に関わる企業の担当者
- ▶ 環境意識の高い一般層及び設備関係従事者
- ▶ 環境商材を扱う卸、小売
- ▶ 脱水膜に興味を持った来場者
- ▶ 再生可能エネルギーに興味のある方、新しく知識を得ようとする方
- ▶ 海外生産拠点を探している企業。海外の投資案件を探している企業
- ▶ 提案した案件やその派生案件の共同開発パートナー  
自社技術をお使いいただける新分野でのB2B顧客

## 5 実際の来場者層はいかがでしたか？

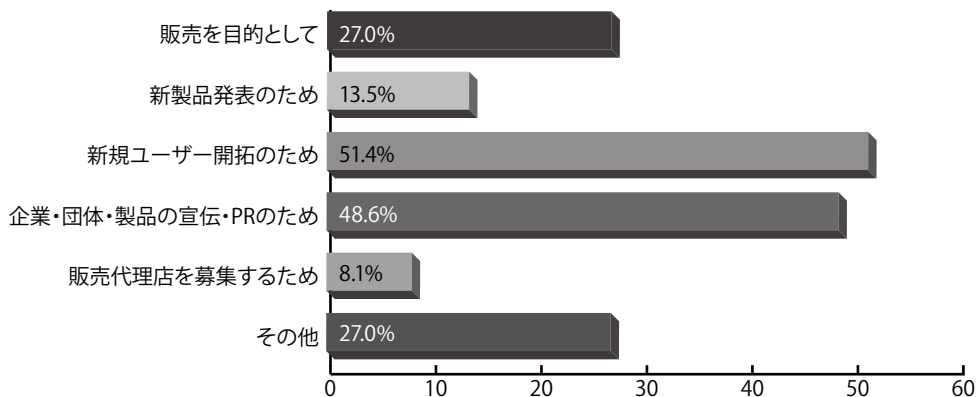
- ▶ ほぼ期待通りだった
- ▶ エンドユーザーよりも建設業や同業が多かった
- ▶ ほぼ予想通り
- ▶ 太陽電池関係、ナノテク、水力発電関係の研究開発者(メーカー企業、研究機関)
- ▶ 全てではないが、興味をもつ企業や今後につながる来場者がいた
- ▶ 太陽光関係が多く、風力関係は少なかった
- ▶ コンサルタント、風車部品メーカー営業担当者等
- ▶ メーカー技術者・大学教授・メーカー営業担当者・展示ブース製作会社営業担当者
- ▶ 会社員や学生、シニア層
- ▶ 大体良かった
- ▶ 関係者層が多かった
- ▶ 太陽光発電に興味がある方が多かったようです
- ▶ 企業の方が割と多かった
- ▶ 代理店希望者の他、個人ユーザーも多かった
- ▶ 設備設計、エネルギー関係事業者
- ▶ 風車メーカー(重工等)、造船社、太陽光発電メーカー、国内外行政関係者、マリコン、等
- ▶ 日射量等、気象予測を必要とするメーカ、事業者を含む、さまざまな来場者層
- ▶ 中には、当社が考えているより、小規模の水力を手掛けたい考えの来場者も居たが、期待した来場者の方も多数居た
- ▶ 幅広い層という意味で概ね期待通り
- ▶ 環境商材を扱う卸、小売
- ▶ 太陽光、風力発電に興味を持たれた来場者が大半であった
- ▶ 太陽光発電の来場者が多くおりましたが、木質燃料についても理解を得られた
- ▶ かなり期待どおりでした
- ▶ 開発が終わった商品を商材として探している方も多かった



## 6 どのようなお客様に来ていただきたいですか？（具体的に）

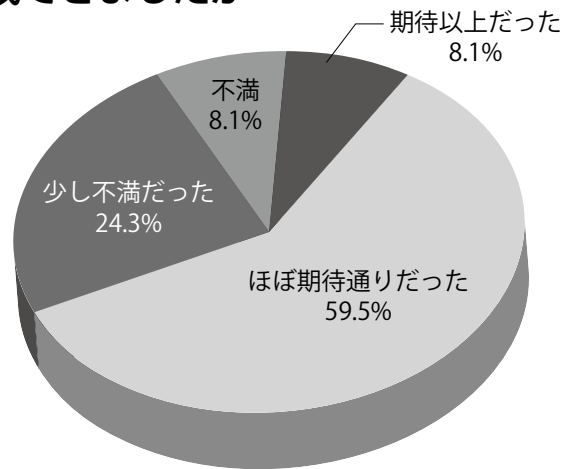
- ▶ 販社となり得るパートナー企業も、もちろんですが、実導入設置案件ともなり得る、施設（福祉関連、温泉施設）等
- ▶ 経営者
- ▶ 再生可能エネルギーの利用、省エネ等にご興味をお持ちのエンドユーザー
- ▶ メーカーの等の技術者
- ▶ 環境、リサイクル技術、エネルギー、電気、ナノテクに関する情報を得たいとお考えの方、研究開発者など、海外（特にアジア）の研究者、中国、台湾、韓国など
- ▶ 自社で材料開発をしている企業
- ▶ 官公庁、自治体、電力事業者、プラント会社
- ▶ 地場商社、工場導入ユーザー、エンジニアリング会社等設備導入を手がける担当者等
- ▶ 再生可能エネルギーに関しての展示会ですので、上記のような方々はもちろんのことではありますが、新技術、その技術を持った商品に対して興味のある一般ユーザーや企業経営者の方々を期待しておりました
- ▶ 製品化あるいは共同研究を進めようとしている企業等
- ▶ 市民の立場から、再生可能エネルギーに取り組める「きっかけ」を感じて頂きたい
- ▶ 中小企業：経営幹部、大企業：GMクラス
- ▶ NEDOの活動を知っていただくためには、一般の方にも来て頂きたいのですが、またNEDOを知らない事業者様にも来て頂きたい
- ▶ エネルギー、環境、データセンター等の事業者
- ▶ 温泉発電に興味のある来場者を希望します
- ▶ 風力、太陽光発電装置及び周辺機器等設計・企画などされる方々
- ▶ 代理店希望者
- ▶ 工場の設備管理関係、設計事務所、ハウスメーカー、役所
- ▶ 当社が展示した内容である、気象、海象予測を必要とするメーカー、事業者
- ▶ 水力開発の計画を具体的に検討されている方で、技術協力先を求めている方が居れば来ていただきたいと考えます
- ▶ 風力発電事業者、部品メーカー等取引先
- ▶ 地域熱供給事業に接する機会の少ない自治体・都市計画・建設関係者
- ▶ 再生可能エネルギー分野の中で特に海洋エネルギー分野に関わる企業の担当者に来てほしい。
- ▶ 環境意識の高い一般層及び設備関係従事者、設備導入にあたっての意思決定者
- ▶ 環境商材を扱う卸、小売
- ▶ 脱水膜に興味を持った来場者
- ▶ 木質燃料に興味のある方
- ▶ テクノロジートランスファーも含め上記（問5）の様な企業にご来場いただきたい
- ▶ 共同開発・生産販売パートナー。自社技術や製品を使用いただけるB2B顧客

## 7 貴社の出展目的を下記の該当する項目をご回答ください。（複数回答可）



- ▶ **その他具体的に**
- ・企業誘致
- ・海技研が海洋開発、洋上再生エネルギー開発という研究分野の課題に取り組んでいることへのアピール
- ・研究協力者の発掘
- ・上記回答に加え、出展物に対する反応をしりたい
- ・共同研究、技術移転先の開拓
- ・様々な視点から再生可能エネルギーに挑戦できることをアピールしたい
- ・書籍の即売、宣伝
- ・木質燃料の社会的貢献のPR
- ・投資案件、それに関連する情報
- ・新分野への事業展開にあたり、自社技術が求められるかの反応を確認したかった

## 8 上記の目的は達成できましたか



### 〈期待以上だった〉

- ▶ 予想以上の方にお越し頂けたため
- ▶ 多くの来場があり、認知度の向上に役立った
- ▶ 川上から川下まで、様々な方々の意見をうかがうことができ大変参考になった。また、多数の来場者を得て、自社技術の役立つところがあることを確認できた

### 〈ほぼ期待通りだった〉

- ▶ 反響があったので
- ▶ 前回と比較すると、購入結果が約4倍だった為、但し試し読みで注文者の割合は3割減
- ▶ 来場者とのコミュニケーションがよく取れた
- ▶ 出展ブースに興味を持って頂いた
- ▶ 商談に至らずとも、興味を持っていただいた方や事業のPRができた
- ▶ 海外生産拠点を探している企業。海外の投資案件を探している企業に来ていただけた

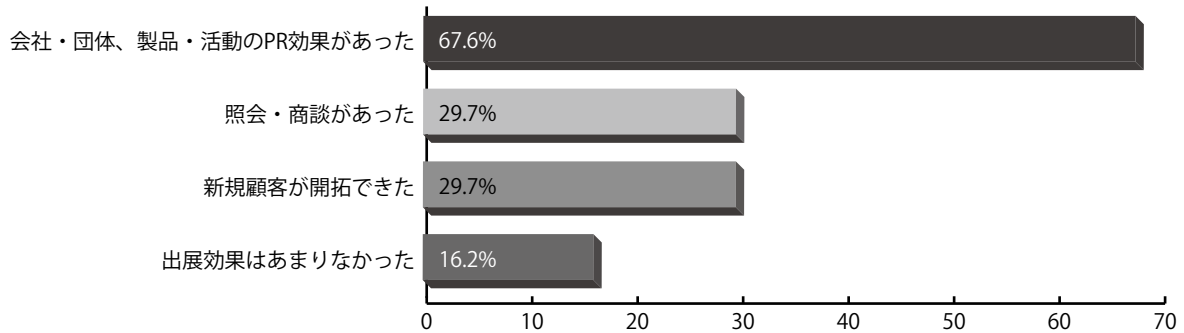
### 〈少し不満だった〉

- ▶ 来場客数、客層が異なったため
- ▶ 全般的に来場者が少ない
- ▶ ターゲットとしていた温泉発電に興味のある来場者が少数であった為
- ▶ まだ入場者数の絶対数が少ないため

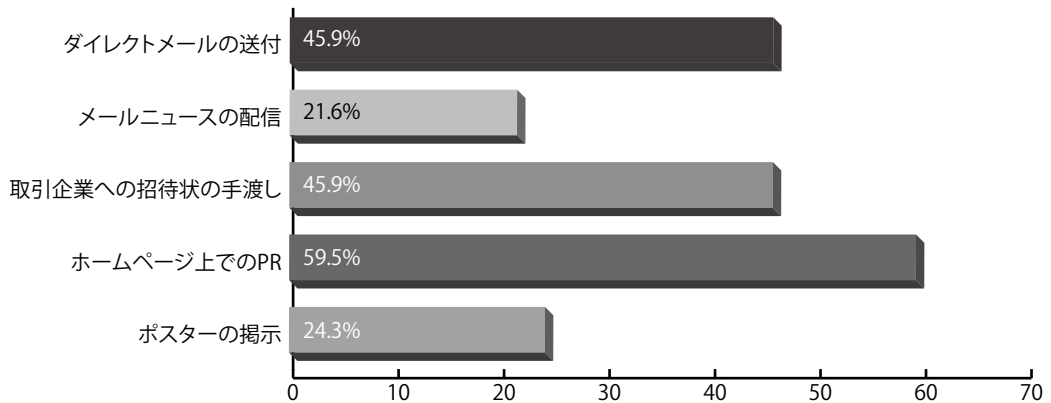
### 〈不満〉

- ▶ 期待の来場者層がほぼなかった為。また、営業担当者様が多かったせいもあり、逆に営業が多かった
- ▶ 太陽光、風力発電に興味を持たれた来場者が大半であり、それ以外の再生エネルギーに興味を持たれている来場者はかなり少なかった為

## 9 現時点で、出展効果についての感触はいかがですか？（複数回答可）



## 10 貴社が行う来場誘致方法・PR方法について、活用しているものにチェックしてください。（複数回答可）



## 11 その他、貴社独自の来場誘致・PR方法があれば、お聞かせください。

- ▶ 今回、団体への取材があり、イベント告知もOKでしたので11月20日（日）12：20～30、レインボーアースFMラジオ（79.2FM）にて世界展示会に出展しているPRをしました。
- ▶ アンケート回答者へのノベルティ進呈
- ▶ モジュールによるアピール。
- ▶ 新聞社への告知を行い、取材・記事掲載していただく。（地元地方紙ほか）



# 広報活動

テレビ、新聞、ラジオ、雑誌、Web など非常に多くのプレスにご来場いただきました！

## 1. プレス来場リスト (プレス登録者のみ。※一般登録で来場したプレスは除く)

Agencia EFE-Tokyo Bureau	(株)ダイヤモンド社	(株)住宅産業新聞社
Bloomberg NEWS	デーリー東北新聞社	(株)重化学工業通信社
(株)BS-TBS	(株)テクノ・システム・リサーチ	(株)潤滑通信社
CICOM BRAINS Inc.	(株)テクノアソシエーツ	商工経済新聞社
Clean Green Lab	(株)テクノタイムズ社	(株)商工経済新聞社
CPNA 都市計画通信社	(株)デジタルアドバンテージ	信越放送(株)
DAIBO(株)	(株)テレケーブル新聞社	新建新聞社
EFE(エフェ)スペイン通信社	(株)テレビ朝日	(株)新樹社
FCCJ	(株)テレビ東京	水道産業新聞社
Germany Trade and Invest GmbH	ナレッジフォア(株)	(株)静岡朝日テレビ
Gichoビジネスコミュニケーションズ(株)	(株)ニュースダイジェスト社	石油ガス・ジャーナル(株)
i Gas Journal	(株)ネコ・パブリッシング	(株)石油化学新聞社
(株)ICSコンベンションデザイン	(株)ばね新聞社	千葉県設備設計事務所協会
(株)LGT	(有)ビディア	(株)宣伝会議
Lux Research Inc.	(株)ビル経営研究所	(株)全国賃貸住宅新聞社
Mergermarket Ltd.	(株)ファスニングジャーナル	全日本同和事業連盟
(株)MICEジャパン	フジテレビ	中国中央電視台
(株)MM総研	(株)プライダル産業新聞社	中國新聞社
NHKメディアテクノロジー	(有)フラクタル・デザイン	朝日新聞社
OLEDNET	(株)プラスチック・エージ	(株)電化新聞社
RKB毎日放送(株)	ブルームバーグニュース	(株)電業調査会
SMBCフレンド調査センター	ボイックス(株)	(株)電材流通新聞社
(株)TBSテレビ	(株)マイナビ	(株)電子ジャーナル
Thomse Reuters	(株)マリポーサカンパニー	(株)電設出版
UBI RESEARCH	ヤマダ・インテグラル・リサーチ	電線新聞
(株)アクセスインターナショナル	(株)リクルート	電波新聞社
(株)アミューズメントプレスジャパン	(株)リック	東京新聞 中日新聞編集局
アルム出版社	(株)リックテレコム	(株)東洋経済新報社
イーディーアール合同会社	茨城新聞社	読売新聞
(株)イード	(株)印刷紙業社	日刊経済新聞社
(株)インタラクシオン	運輸新聞(株)	日刊建設工業新聞社
(株)エクснаレッジ	(株)化学工業日報社	日刊建設産業新聞社
(有)エコ・キムラ	(株)加工技術研究会	(株)日刊建設通信新聞社
(株)エディトリアルハウス	(株)家電流通研究センター	(株)日刊工業出版プロダクション
エヌピーディー・ジャパン(株)	(株)海事プレス社	日刊工業新聞社
(株)エネルギージャーナル社	環境建築新聞社	日刊自動車新聞社
(株)エネルギーフォーラム	(株)環境新聞社	日刊木材新聞社
(有)エムエスシー	(株)関東総業	日経BP社
(株)オイル・リポート社	共同テレビジョン	(株)日経ラジオ社
(株)オートメレビュー社	共同通信社	日経映像
(株)オーム社	金属産業新聞社	(株)日報アイ・ビー
(株)オプトロニクス社	(株)金属時評	(株)日本アプライドリサーチ研究所
(株)ガスエネルギー新聞	(株)空調タイムズ社	日本テレビ放送網(株)
(有)ガスメディア社	建設工業調査会	(株)日本ビジネス出版
(株)ガスレビュー	建通新聞社	(株)日本ビル新聞社
(株)クリエイティブ日報	研磨材新報社	日本ベアリング新聞社
グローバルネット(株)	公益社団法人東京電気管理技術者協会	(株)日本屋根経済新聞社
(株)ケーブルネットワーク千葉	公明新聞	(株)日本金属通信社
コンパス・トゥーワン	工業技術新聞社	日本経済新聞社
サンエジソンジャパン(株)	(株)工業通信	日本工業出版(株)
(株)ジアン	合資会社 otomi. tv	(株)日本住宅新聞社
(株)シーエムシー出版	(株)産業タイムズ社	日本食糧新聞社
(株)システムファイブ	(株)産業と環境	(株)日本物流新聞社
じへいの動画解放軍	(有)産業資材新聞社	日本放送協会
(株)ジャスク	(株)産業新聞社 東京本社	(株)農経新報社
しんぶん赤旗 編集局	産業報道出版(株)	(株)不動産経済研究所
(株)ステラ・コーポレーション	産経新聞	(株)富士キメラ総研
ステンレスニュース社	フジサンケイ ビジネスアイ	分散型エネルギー新聞
(株)セミコンダクタポータル	(株)時報社	(株)無線産業新聞社
セミリンクス	(株)鹿島出版会	(株)矢動丸プロジェクト
(株)ソーラーシステム研究所	(社)日本電気協会新聞部	(株)油業報知新聞社



## 2. 記事(掲載のご連絡をいただいた媒体のみ)

### 1) 新聞

- ・フジサンケイ ビジネスアイ 12月5、6、7、8日
- ・産経新聞 12月1、5日
- ・プラスチック産業資材新聞 12月15日

### 2) 雑誌等

- ・月刊ビジネスアイENECO A4判 5月号・12月号
- ・用水と廃水 B5判 6月号

## 3. 広告

### 1) 新聞

- ・フジサンケイ ビジネスアイ 11月18、21、24、28、30日・12月5日
- ・夕刊フジ 11月22日
- ・環境新聞 11月2、9日

### 2) 雑誌他

- ・月刊ビジネスアイENECO A4判 12月号
- ・週刊東洋経済 A4判・1項 11月5日発行
- ・機械設計 B5判・1項 12月号
- ・日経エコロジー A4判・1項 12月号

## 4. 関連展示会での事前PR

下記関連展示会のフジサンケイ ビジネスアイブース、または情報コーナーにおいて来場者に配布した。

会期	展示会名称	会場	入場者数
2011.11.9-11	第2回鉄道技術展	幕張メッセ	16,445名
2011.10.19-21	サイエンスエキスポ関西	インテックス大阪	9,684名
2011.10.19-21	粉体工業展大阪2011	インテックス大阪	11,474名
2011.10.12-14	TEST2011 [第11回総合試験機器展] 国際セラミックス総合展2011 測定計測展 センサエキスポジャパン2011	東京ビッグサイト	44,815名
2011.8.31-9.2	第13回自動認識総合展	東京ビッグサイト	19,552名
2011.3.2-4	FC EXPO 2011	東京ビッグサイト	90,011名

## 5. 招待状のダイレクトメール

1) 主催者では、来場希望者をはじめ、以下の精選されたリストにより招待状57,104通を発送しました

主なダイレクトメール発送先

- これまでの来場者
- 共催・協賛団体会員
- これまでに寄せられている来場希望者
- 流通関係
- ディベロッパー
- 各省庁・地方自治体・公共施設
- 関係機構・団体
- 企業の環境、エネルギー担当者
- 建築・設計関係
- 大学・研究機関

2) 出展者へ希望枚数45,940通を配布しました。

## 6. Web上での情報公開

10月より来場促進Webページを作成し、出展社一覧、併催イベント、併催セミナーなどを掲載した。ページ内に事前登録を設けた。

## 7. ポスターの掲示

出展者及び関係団体へ配布

## 8. メールニュース

第1回～第5回の来場者および事前登録者、第6回事前登録者にメールニュースを送った。

## 9. プレスリリース

第1回 2011年10月3日

第2回 2011年11月28日

リリース先

- ・経済産業省 資源記者クラブ
- ・経済産業省 新聞記者会ペンクラブ
- ・経済産業団体連合会 記者クラブ
- ・環境省 記者会
- ・筑波研究学園都市 記者会
- ・一般・専門新聞社、各関連専門雑誌社など
- ・前回プレス登録者
- ・Web掲載

## 10. 記者会見の実施

2011年12月5日 国際会議場 1階 102号室





あつちから今を捉めて明日を築こう！  
再生可能エネルギー世界フェア 2011

**入場無料**

第6回再生可能エネルギー世界展示会 (新エネルギー世界展示会より改称)

**RENEWABLE ENERGY EXHIBITION**  
**RENEWABLE ENERGY 2011 EXHIBITION**  
The 6th

2011年12月5日(月)~7日(水) 10:00~17:00

会場 幕張メッセ 同時開催 PVJapan2011 (共同主催:太陽光発電協会、SEMI)

主催 再生可能エネルギー協議会

展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST神田須田町4F  
TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 E-mail: info@renewableenergy.jp

<http://www.renewableenergy.jp>

▲全5段広告

2011年は12月5日-7日、幕張メッセにて開催します!!

あつちから今を捉えて明日を築こう！  
再生可能エネルギー世界フェア 2011

第6回再生可能エネルギー世界展示会 (新エネルギー世界展示会より改称)

**RENEWABLE ENERGY EXHIBITION**  
**RENEWABLE ENERGY 2011 EXHIBITION**  
The 6th

2011年12月5日(月)~7日(水) 10:00~17:00

会場 幕張メッセ 同時開催 PVJapan2011 (共同主催:太陽光発電協会、SEMI)

主催 再生可能エネルギー協議会

特別協賛: 南アフリカ共和国 (South Africa), オーストラリア (Australia)

日本語 | English | 文字サイズ: 小 | 中 | 大

**開催概要**

名称: 「第6回再生可能エネルギー世界展示会」  
RENEWABLE ENERGY 2011 EXHIBITION

日程: 2011年12月5日(月)~12月7日(水) 10:00~17:00

会場: 幕張メッセ 国際展示場9-11ホール/国際会議棟

主催: 再生可能エネルギー協議会

共催: 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構、  
独立行政法人 産業技術総合研究所、財団法人 新エネルギー財団

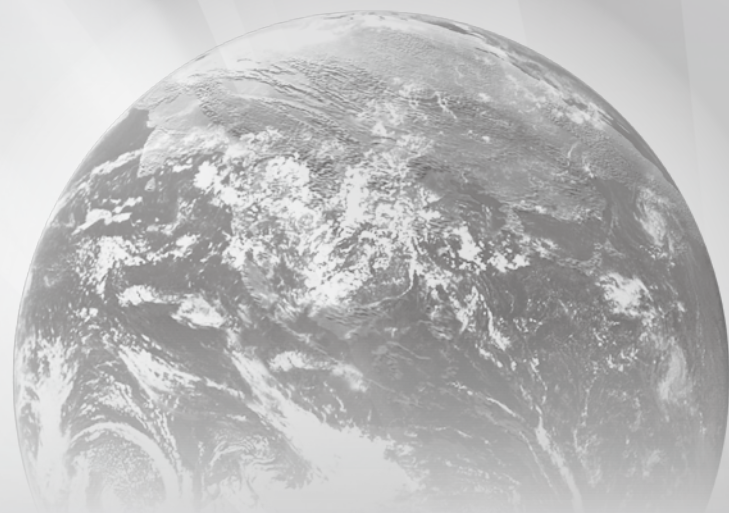
後援: 経済産業省、環境省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、総務省、内閣府、  
東京都、千葉県

特別協賛: 公益財団法人高橋産業経済研究財団

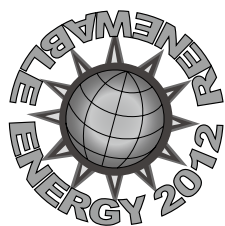
協賛: 電気事業連合会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人日本自動車工業会、  
石油連盟、一般社団法人日本ガス協会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、  
一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人電子情報技術産業協会、  
社団法人日本水道工業団体連合会、一般社団法人日本機械学会、社団法人電気学会、  
公益財団法人日本化学会、社団法人日本建築学会、社団法人空気調和・衛生工学会、  
社団法人電気化学会、公益社団法人化学工学会、一般社団法人日本エネルギー学会、  
社団法人日本半導体製造装置協会、独立行政法人国立環境研究所、  
独立行政法人海洋研究開発機構、独立行政法人海上技術安全研究所、  
独立行政法人国際農林水産業研究センター、  
独立行政法人農業・食品産業技術総合開発機構、財団法人省エネルギーセンター、  
一般社団法人エンジニアリング協会、財団法人地球環境産業技術研究機構、  
公益財団法人日本科学技術振興財団、一般社団法人エネルギー・資源学会、  
日欧産業協力センター、リニューアブルエネルギー有効利用・普及促進機構、  
財団法人エネルギー総合工学研究所、財団法人日本エネルギー経済研究所、  
財団法人電力中央研究所、一般社団法人太陽光発電協会、日本太陽エネルギー学会、  
太陽光発電技術研究組合、社団法人ソーラーシステム振興協会、  
社団法人住宅生産団体連合会、財団法人建築環境・省エネルギー機構、  
社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本風力発電協会、  
一般社団法人日本風力エネルギー学会、日本小形風力発電協会、  
一般社団法人日本風工学会、風力発電推進市町村全国協議会、  
社団法人アルコール協会、社団法人日本有機資源協会

▲Web 日本語 Top





## 次回開催予告



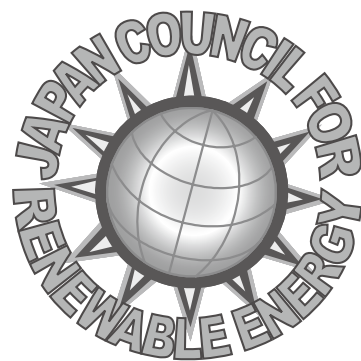
第7回 再生可能エネルギー世界展示会

**RENEWABLE ENERGY  
2012 EXHIBITION** The 7th

[www.renewableenergy.jp](http://www.renewableenergy.jp)

2012年**12月5日**水~**7日**金 10:00~17:00

会場：幕張メッセ



**主催：再生可能エネルギー協議会**

**第6回再生可能エネルギー世界展示会 事務局**

(株) シー・エヌ・ティ 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4F  
TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 E-mail: info@renewableenergy.jp